



強制的に熟女と結婚・子作り
させられる私の彼氏。



サエコ

20xx年…。

日本の少子化は加速し、
政府は新たな政策を発表した。

強制婚…。



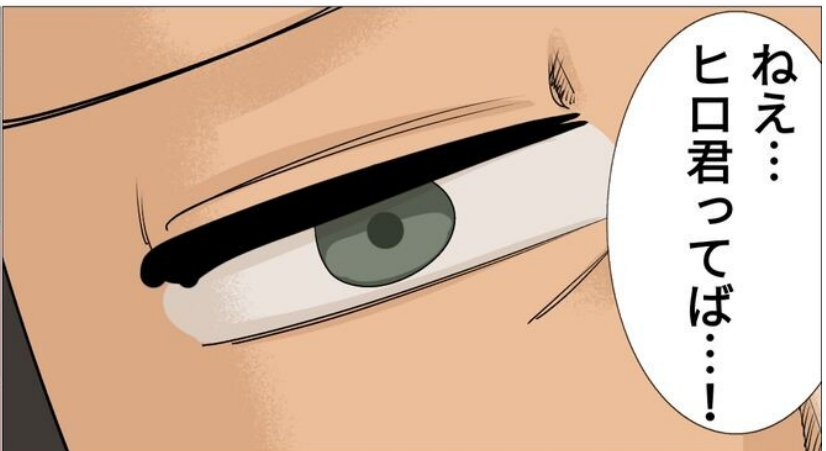
結婚しそこねた人たちを
強制的にマッチングし、
結婚・出産を促す試みである。





ねえ…ヒロ君…？

ヒロ君…？



ねえ…
ヒロ君ってば…！





朝だよ…。
このままじゃ…。
起きれないじゃん…。



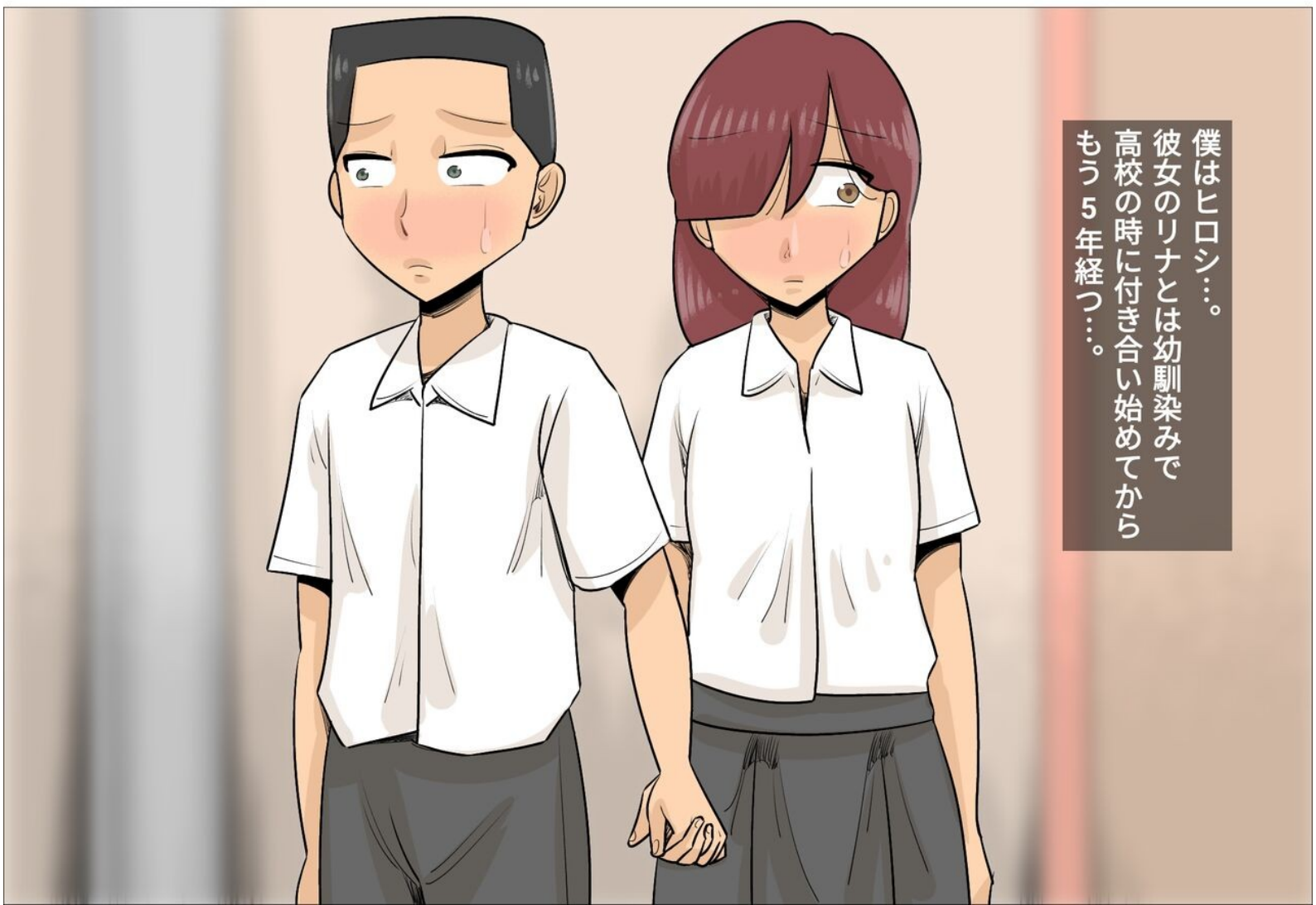
あれ…？えっと…。
なんでこんな格好に…。



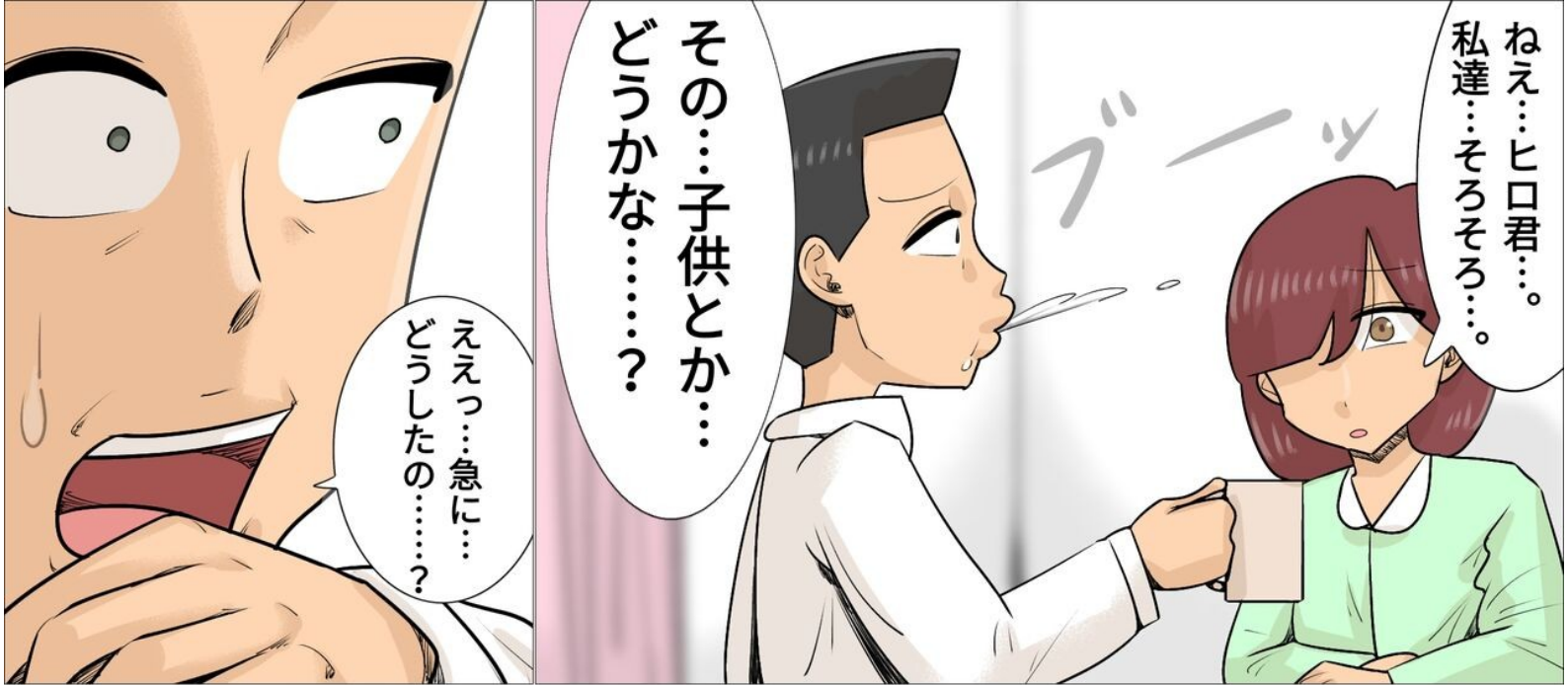
ああ…。
ごめんなさいっ…。

あはは

もう…。
ヒロ君ったら…。



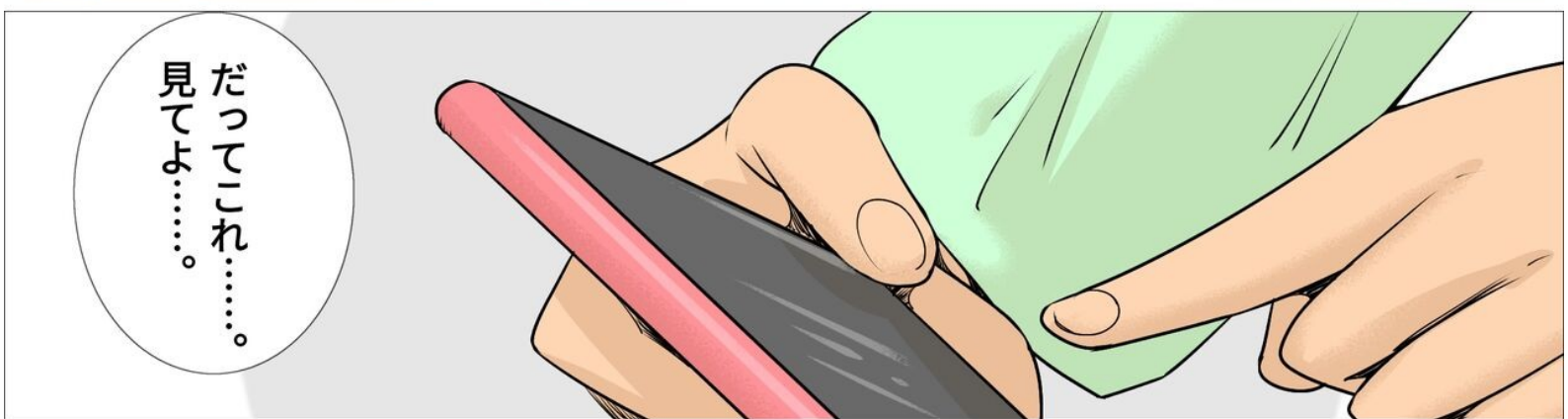
僕はヒロシ…。
彼女のリナとは幼馴染みで
高校の時に付き合い始めてから
もう5年経つ…。



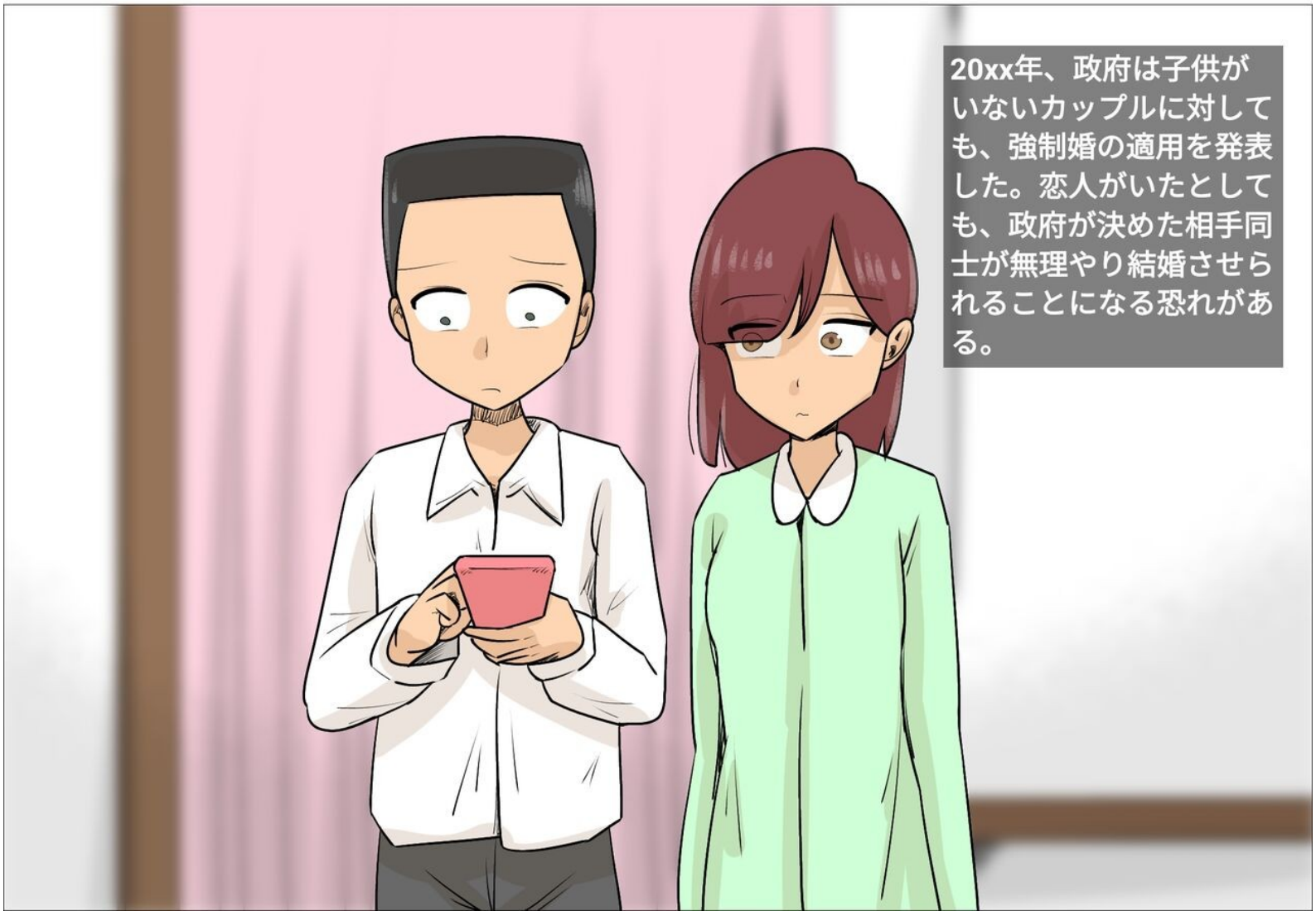
ねえ…ヒロ君…。
私達…そろそろ…。

その…子供とか…
どうかな…??

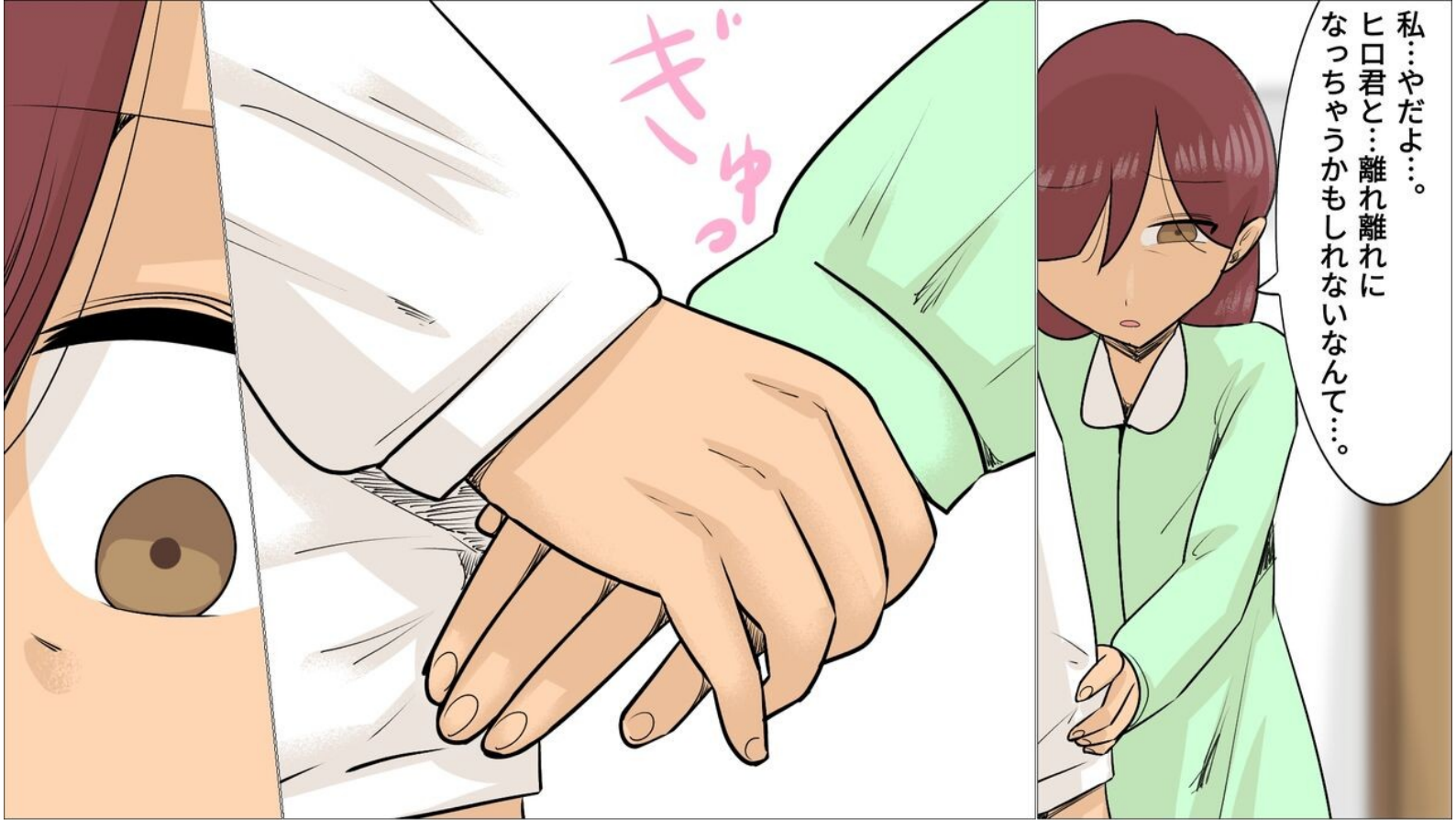
ええっ…急に…
どうしたの…??



だってこれ…。
見てよ…。



20xx年、政府は子供がいないカップルに対しても、強制婚の適用を発表した。恋人がいたとしても、政府が決めた相手同士が無理やり結婚させられることになる恐れがある。



私…やだよ…。
ヒロ君と…離れ離れに
なっちゃうかもしれないなんて…。



大丈夫…。僕がつ…。
絶対に…リナを…守るから…。

どんな状況になっても…。
ずっと一緒にいよう…。

ヒロ…君……。



うん……。そう…だよな……。
私達…ずっと一緒だったもんね…。
これからも…そうだよな……。



そうだよ……。
うん…ずっと……。



ぎゅ。

じゃあ……。
今日も仕事…
頑張ってきてます。



うん！
いっしょ……。。





アホ……アホ……。

アホ

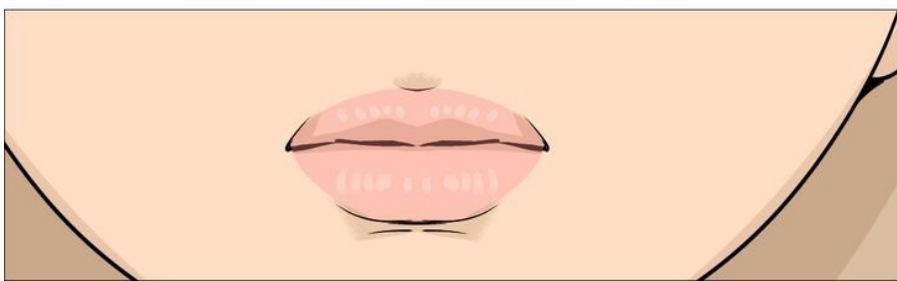
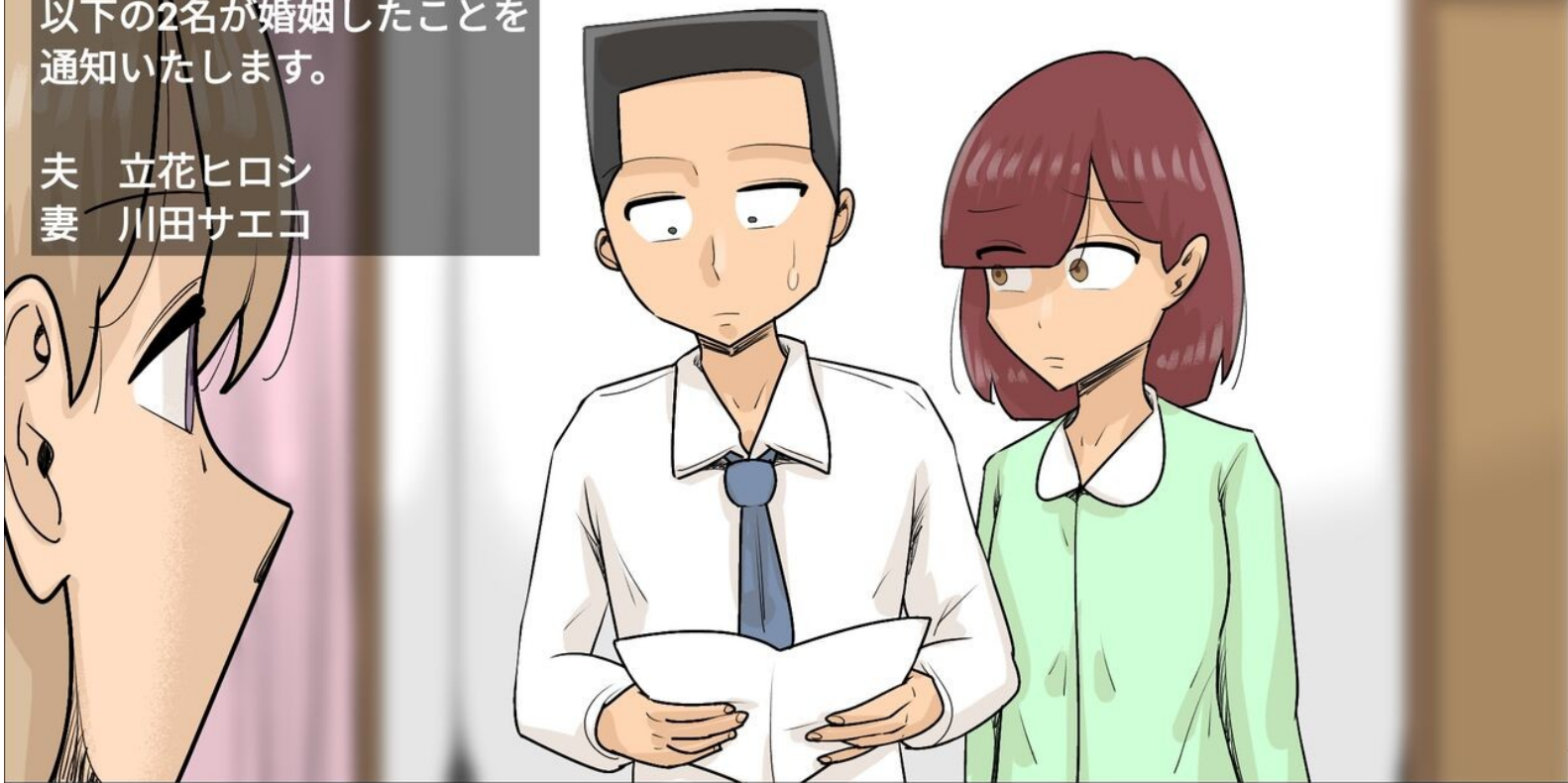


えっと…
誰…ですか…？

強制婚姻通知書

20xx年5月1日、
強制婚姻法に基づいて、
以下の2名が婚姻したことを
通知いたします。

夫 立花ヒロシ
妻 川田サエコ



だから…
なんとかか…なりませ…。

それが
どうしましたか……？

もうあなたはヒロシさんと
カップルではありません。

どっ
私とヒロシさんが
正式な夫婦なのでから。

ね？ヒロシさん…。

そして僕らは……。
隔離された……。

リナ……。辛いと思うけど……。
もう……ヒロシ君のことは
忘れなさい……。

あっ……そういえばね、
今度お見合いしないかって
お誘いが来てるんだけど……？

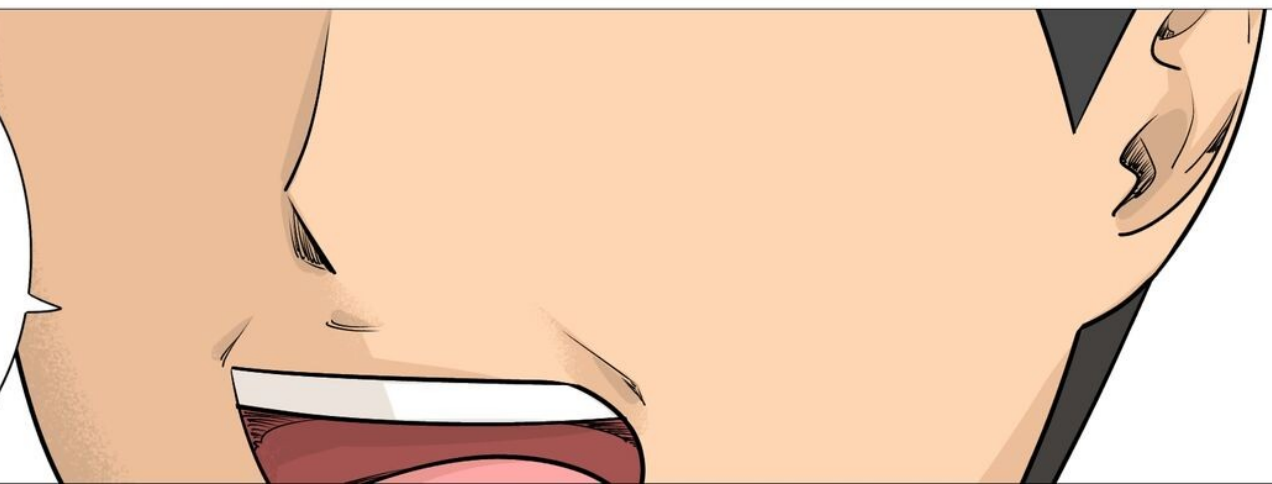
ヒロ君……。
今どうしてる……？



ヒロシさん……。
今日の「飯」は……ですか……？

……。

あの……。
怖くないんですか？
サエコさん……。



僕達…知らない者
同士なのに…。
いきなり…こんな
結婚だなんて…。

私は…これまで…
結婚相手も見つけられず…。

歳も35まで
来てしまいました…。

私は…ヒロシさんのこと
まだよく知りません…。

だけど…
これから…。

よく知って…そして…
好きになっていきたいなど
思っています…。

私にとって…
結婚して…
赤ちゃんを産む…
最後のチャンス
なんです…。

あんなこと…
確かに…35歳なら…
赤ちゃんが欲しかったら…
もうそろそろ
産んどかないとだよな。

ちやほほ。

いやっ…でも…僕には
リナが…いるんだ…。
もしサエコさんを
妊娠させてしまったら…。

悲しむよなー。

コロンカー…。

お背中、流しますから
上がってください。

ガラガラ

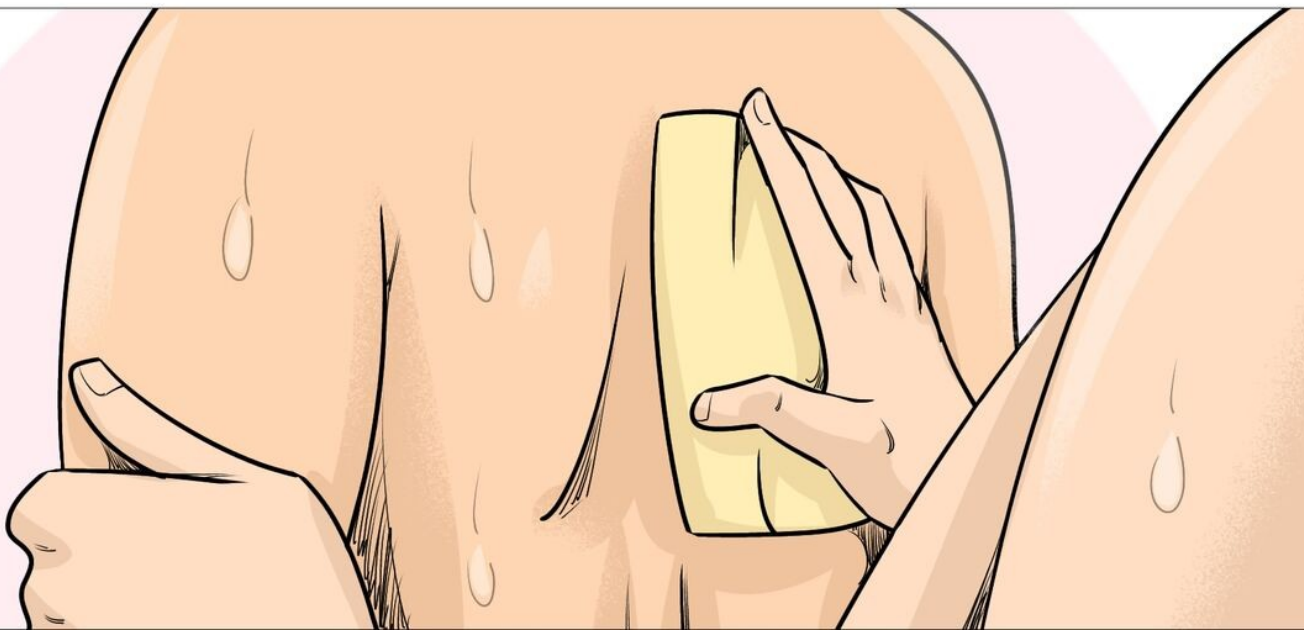
わい…
サトルさん…!?

!!

わい…わい…
自分でできるんで…
わいですわっそんなんっ…

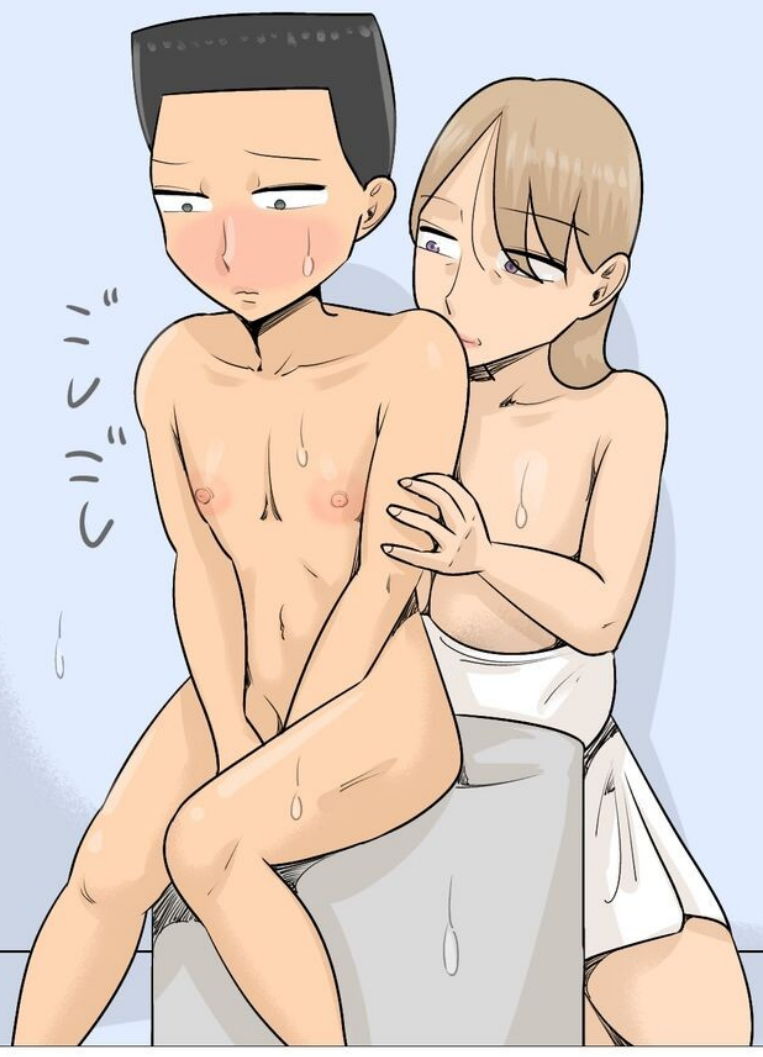
いいえ、妻として
夫の背中を
お流したいんです…

わい…わい…



あつ…
勃ってきちゃった…。

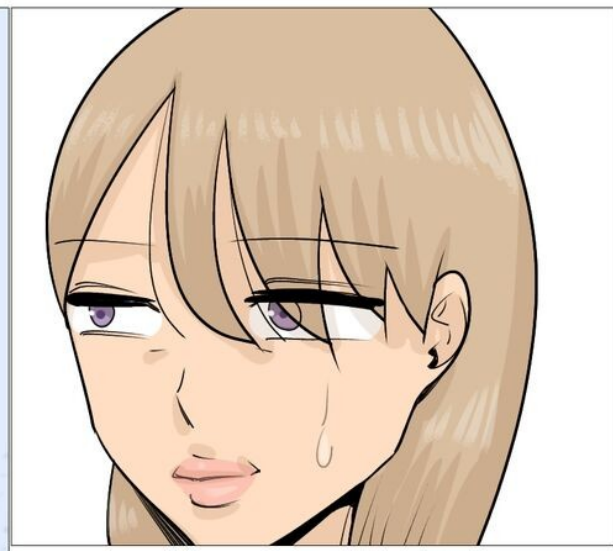
「はっはっはっ」



自分で…
できますからっはっ…。

あっ

あつ…そっはっ…。
いっです…あつ…。



前も洗いますね。

ちよっ…
ちよっ…。



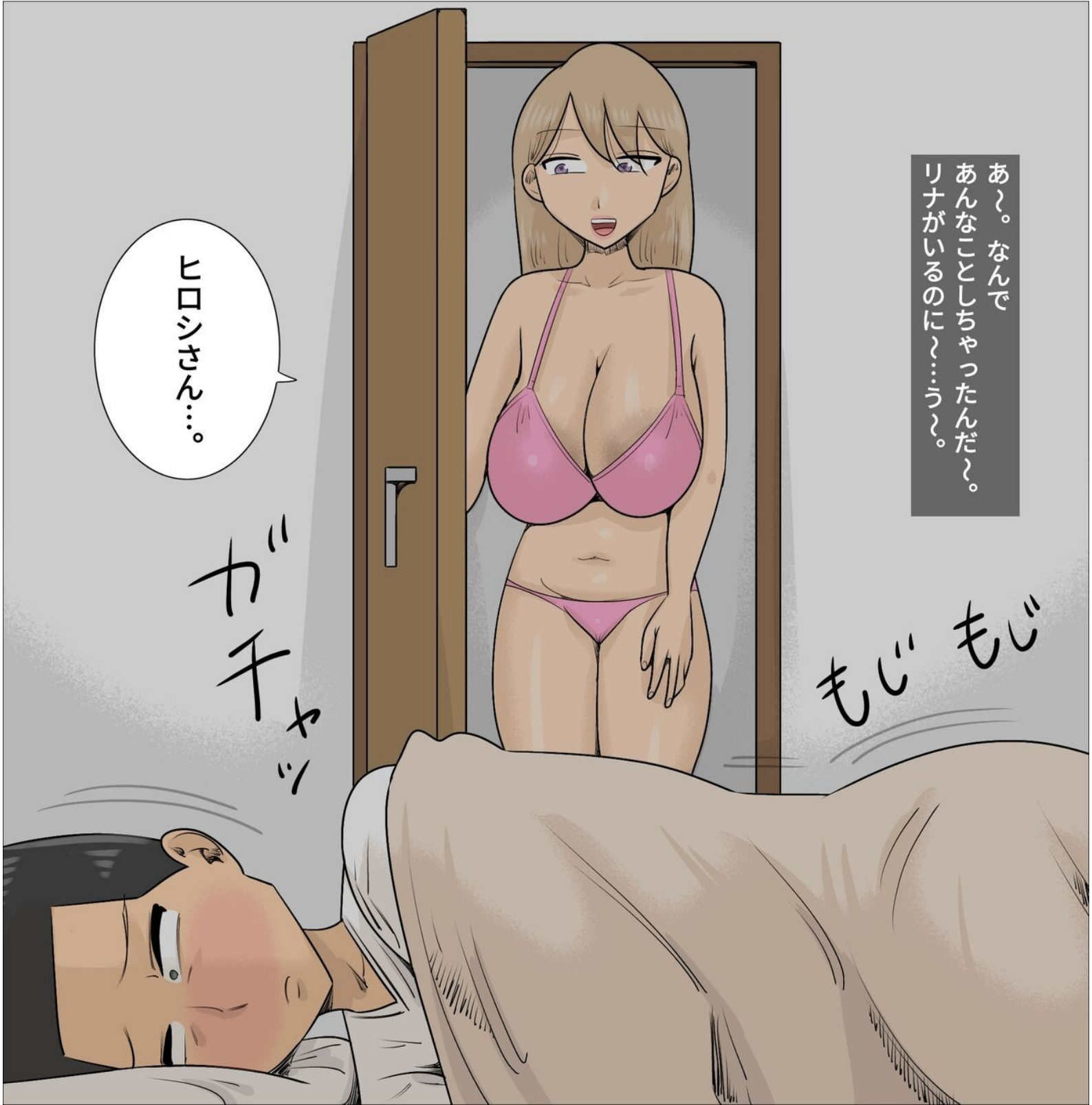
はあ。。

ヒクヒク

クロンちゃん…。

ガキ
チャ
ミン

もじもじ



あ。なんで
あんなことしちゃったんだ。
リナがいるのに…う。

えっ…!! なっ…なっ…
なんです…
その格好…!!

何って…その…
言わせないで
くださいよ…。

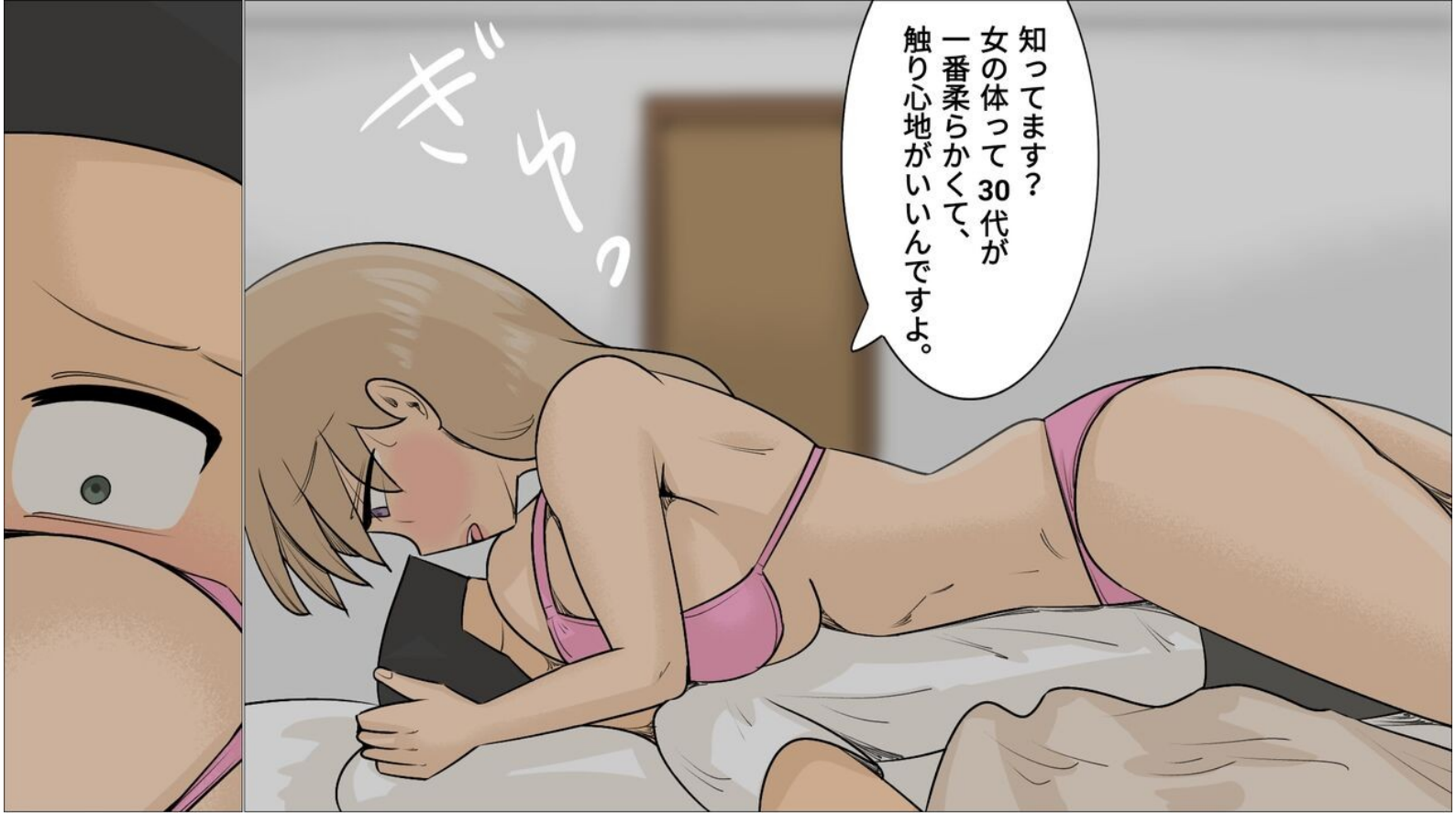
どきっ

子作りに決まってる
じゃないですか…??

私の体…好きに使って…
いいですからね…??

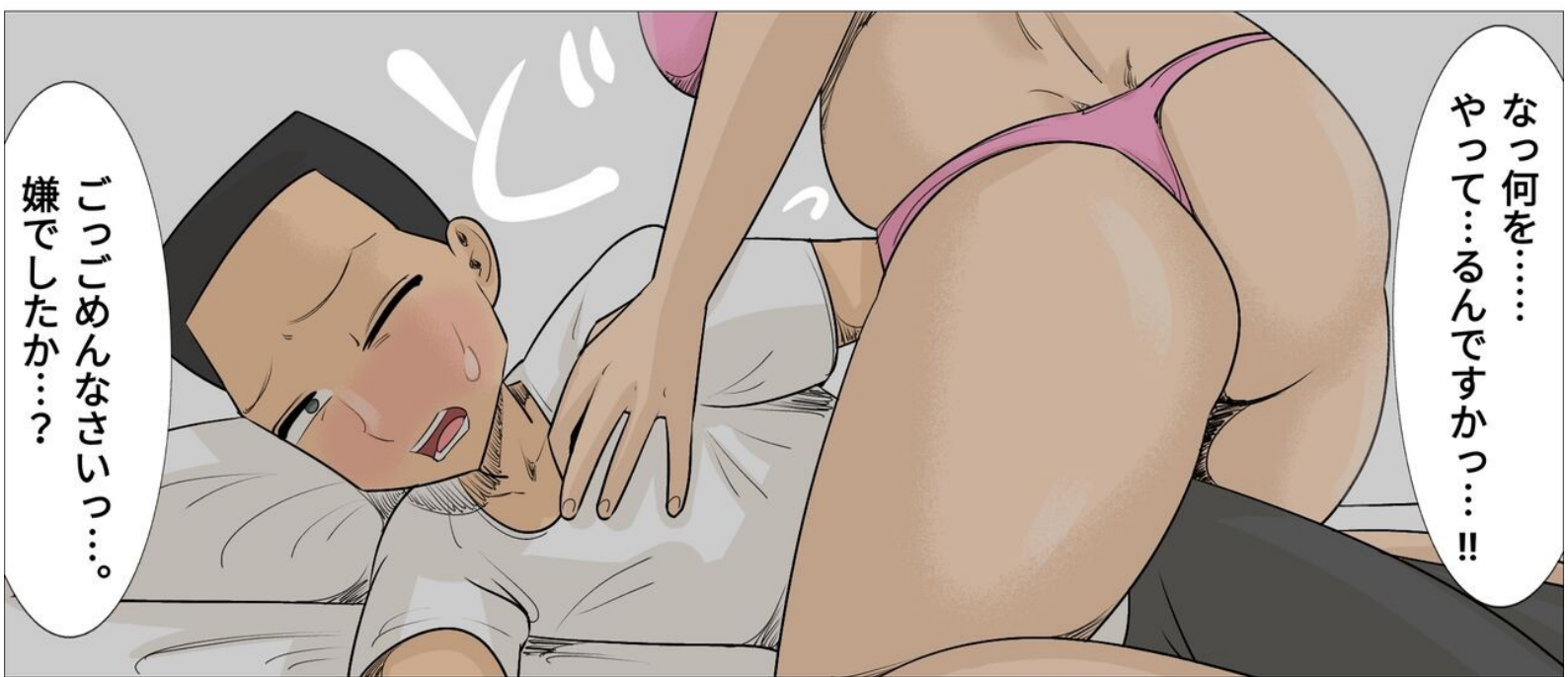
もみ

いやっ…そんな…。
僕はっ…リナが…。



知ってます？
女の体って30代が
一番柔らかくて、
触り心地がいいんですよ。

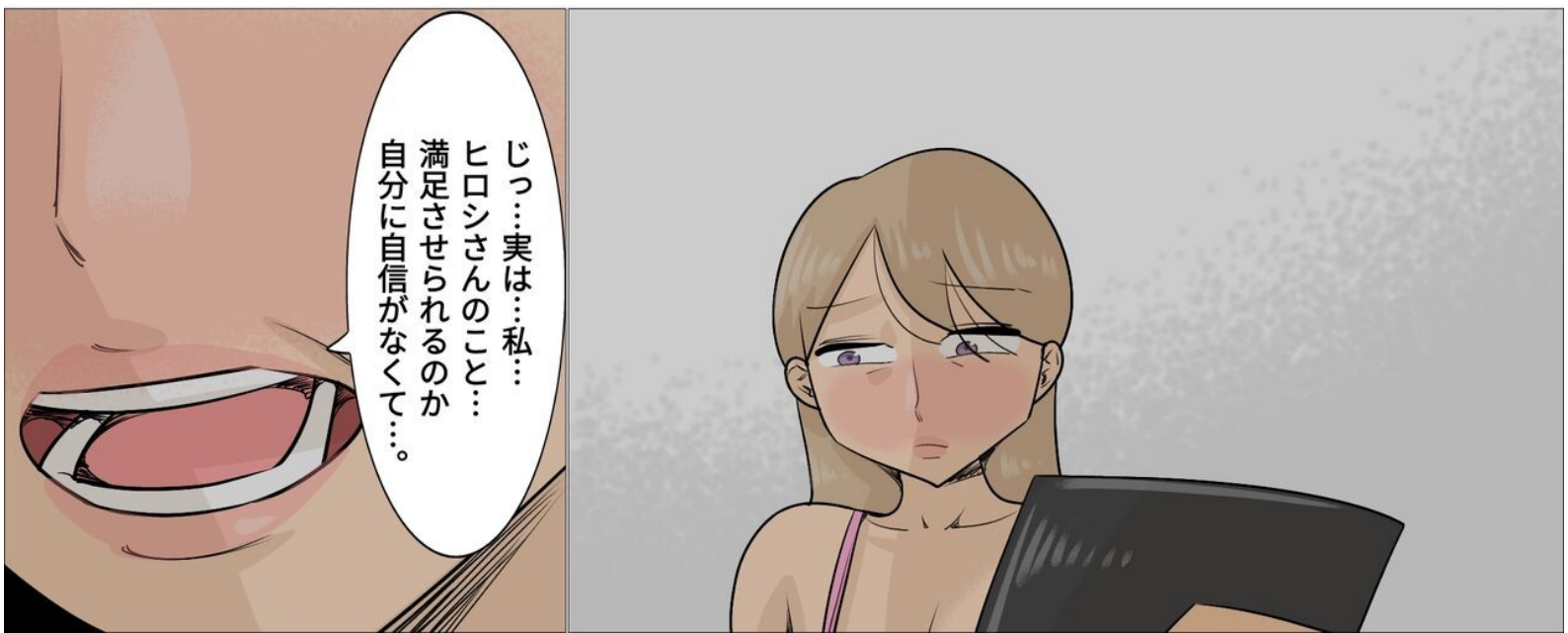
ギョッ



なっ何を……
やって……るんですかつ……!!

ごっごめんなさいっ……。
嫌でしたか……？

じ

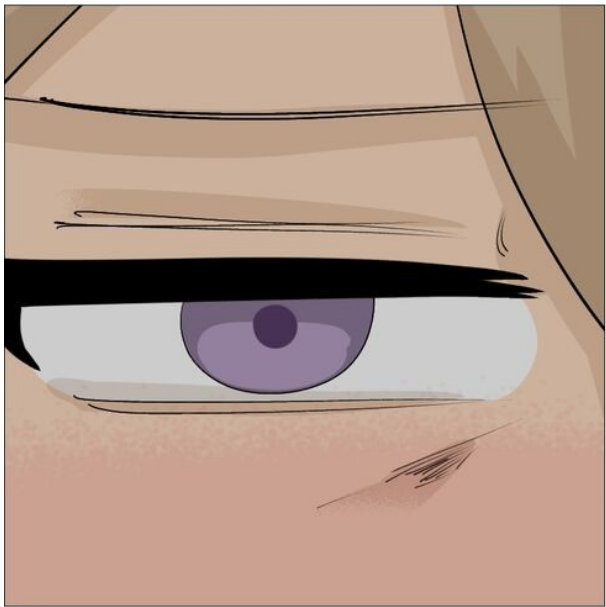


じっ……実は……私……
ヒロシさんのこと……
満足させられるのか
自分に自信がなくて……。



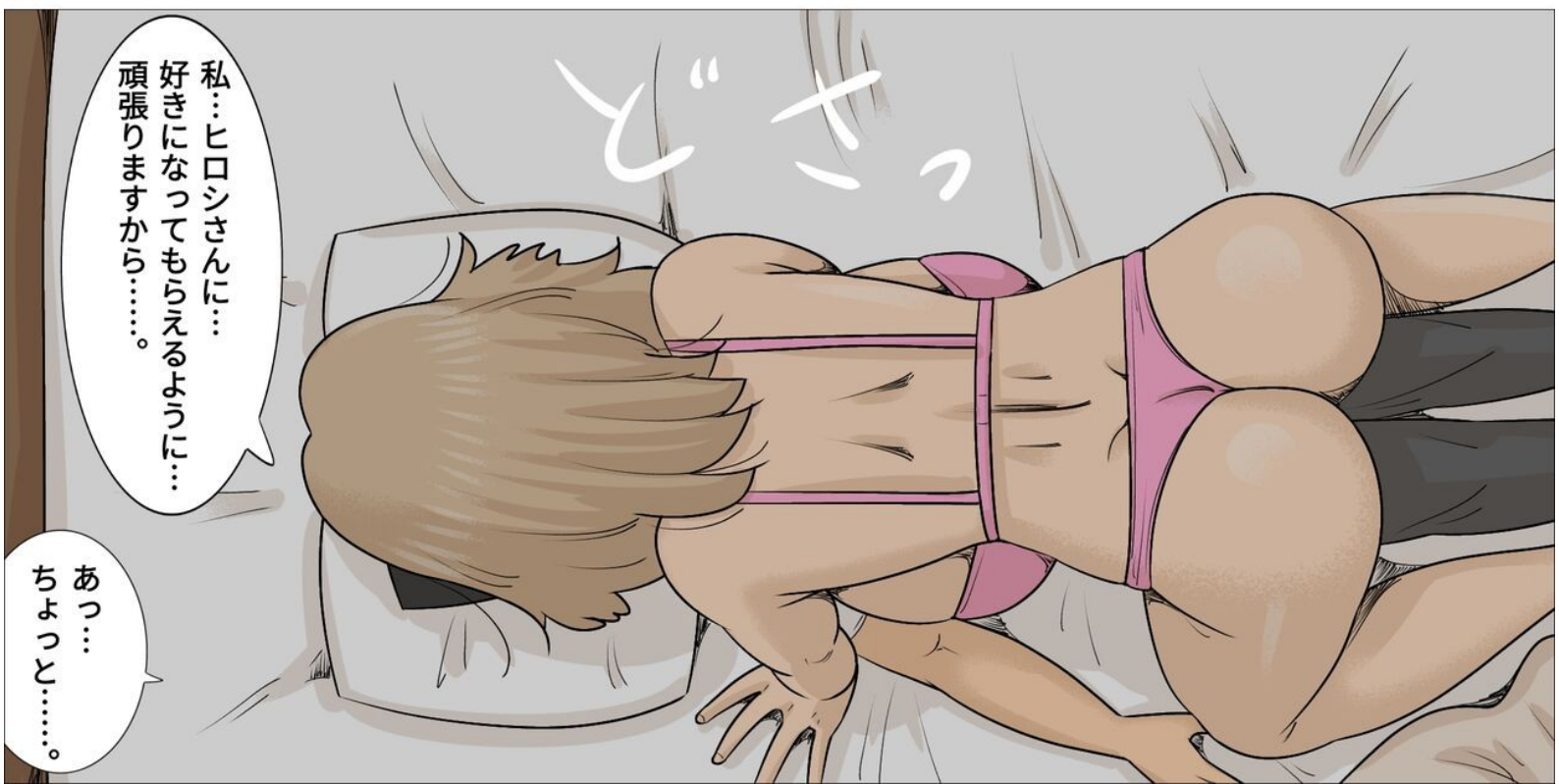


すみません…。私じゃ…
興奮しませんかね…？



おっぱい
柔らかかったな…。

うっ…うっや…。
そっ…うっや…。



どっ

私…ヒロシさんに…
好きになってもらえるようだ…
頑張りますから…。

あっ…
ちょっと…。



あーっ

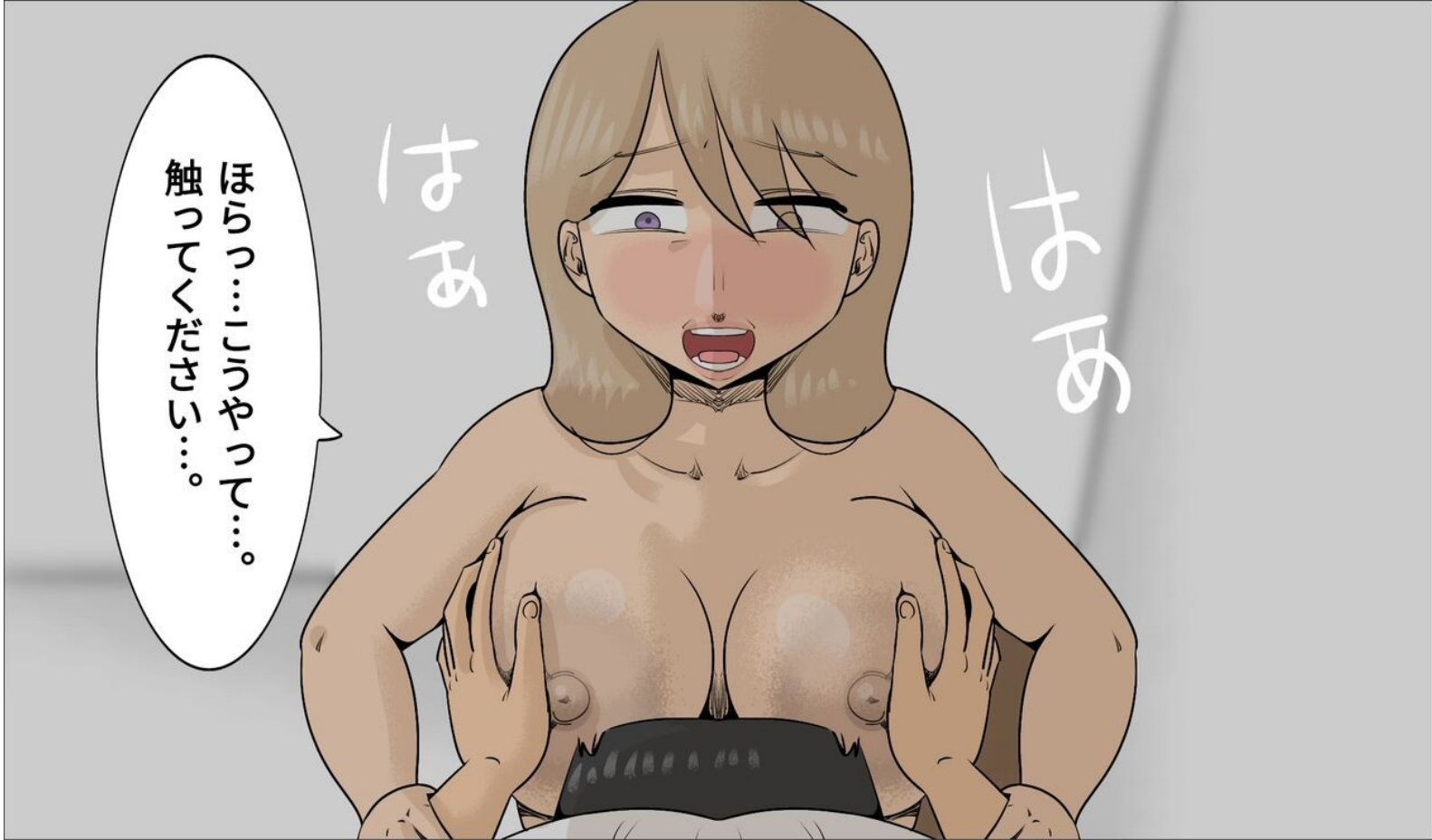


触っていいんですよ...?
ヒロシさん...。

いやっ...
それはっ...。

.....。歳取って、
だいぶ垂れてきちゃって...。
私のおっぱいじゃダメですか...？

いや、
そういうわけじゃ...。



ほらっ…「じゅじゅ」って…。
触ってください…。

はあ

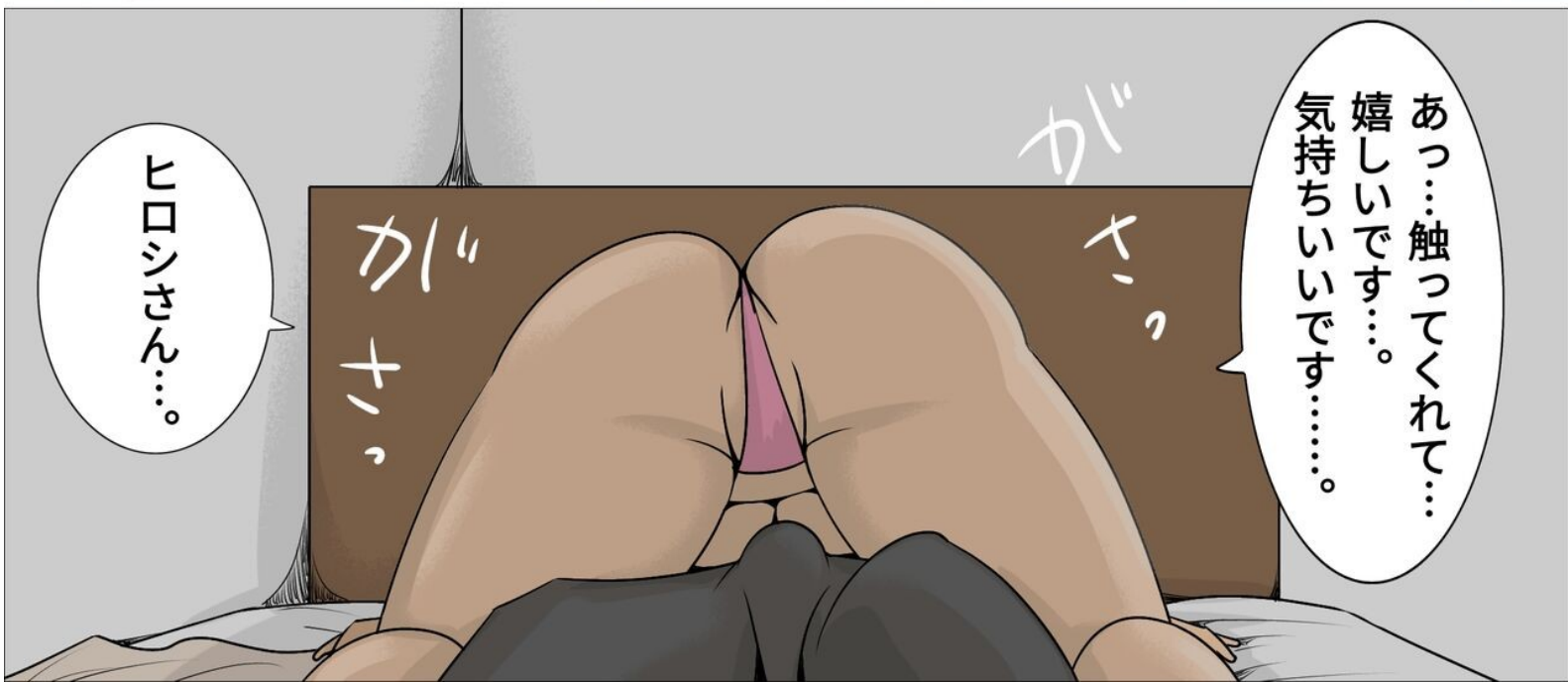
はあ



リナより……。
バカっ…僕は…
何考えてんだ…。



こっこれはっ…。
すごいタブタブしてて…。
柔らかくて、ずっしりしてる…。

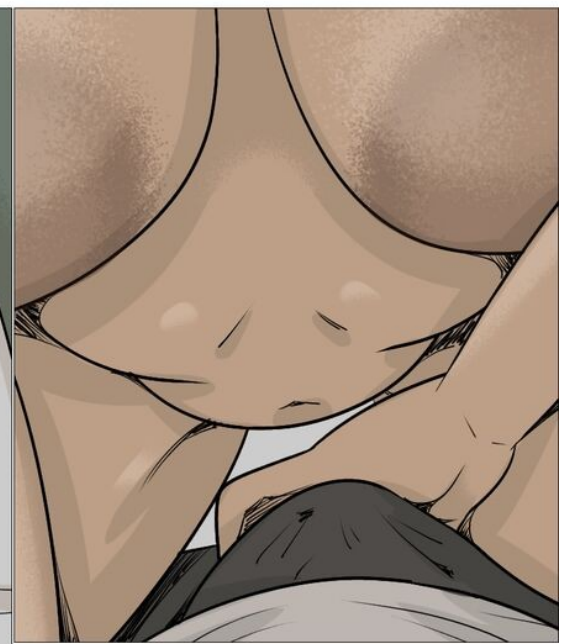
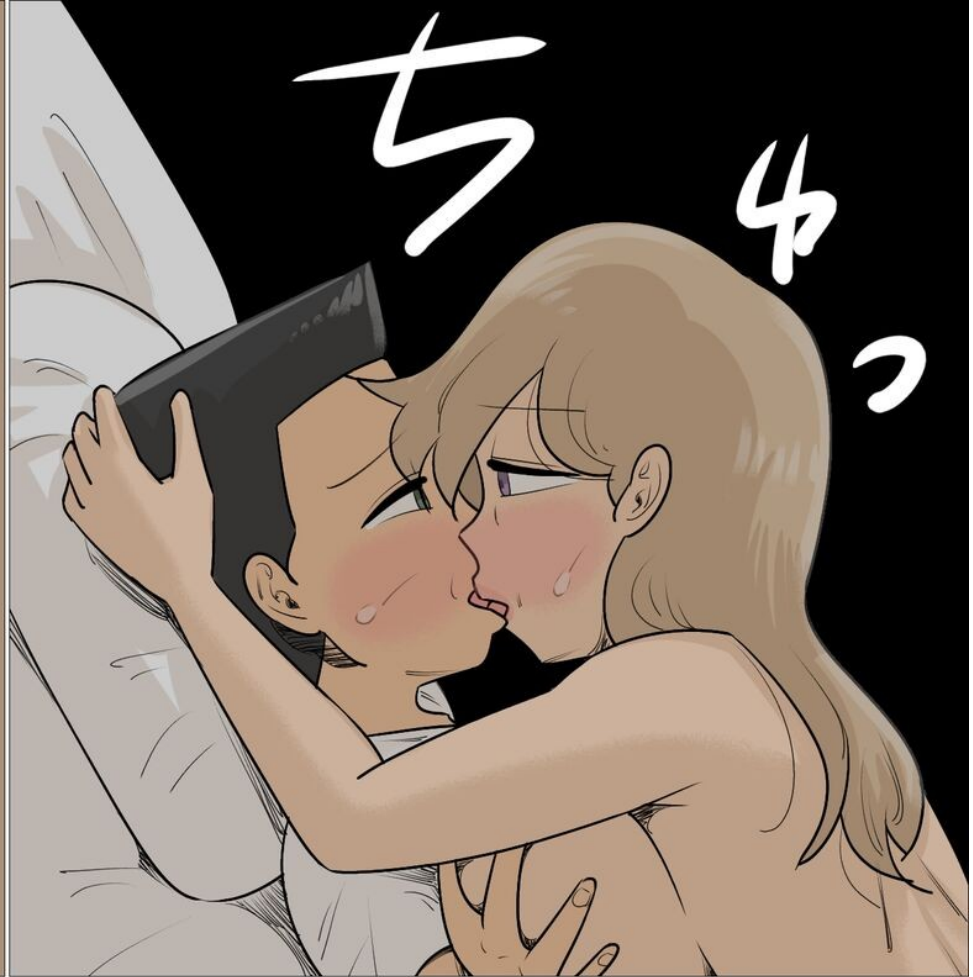


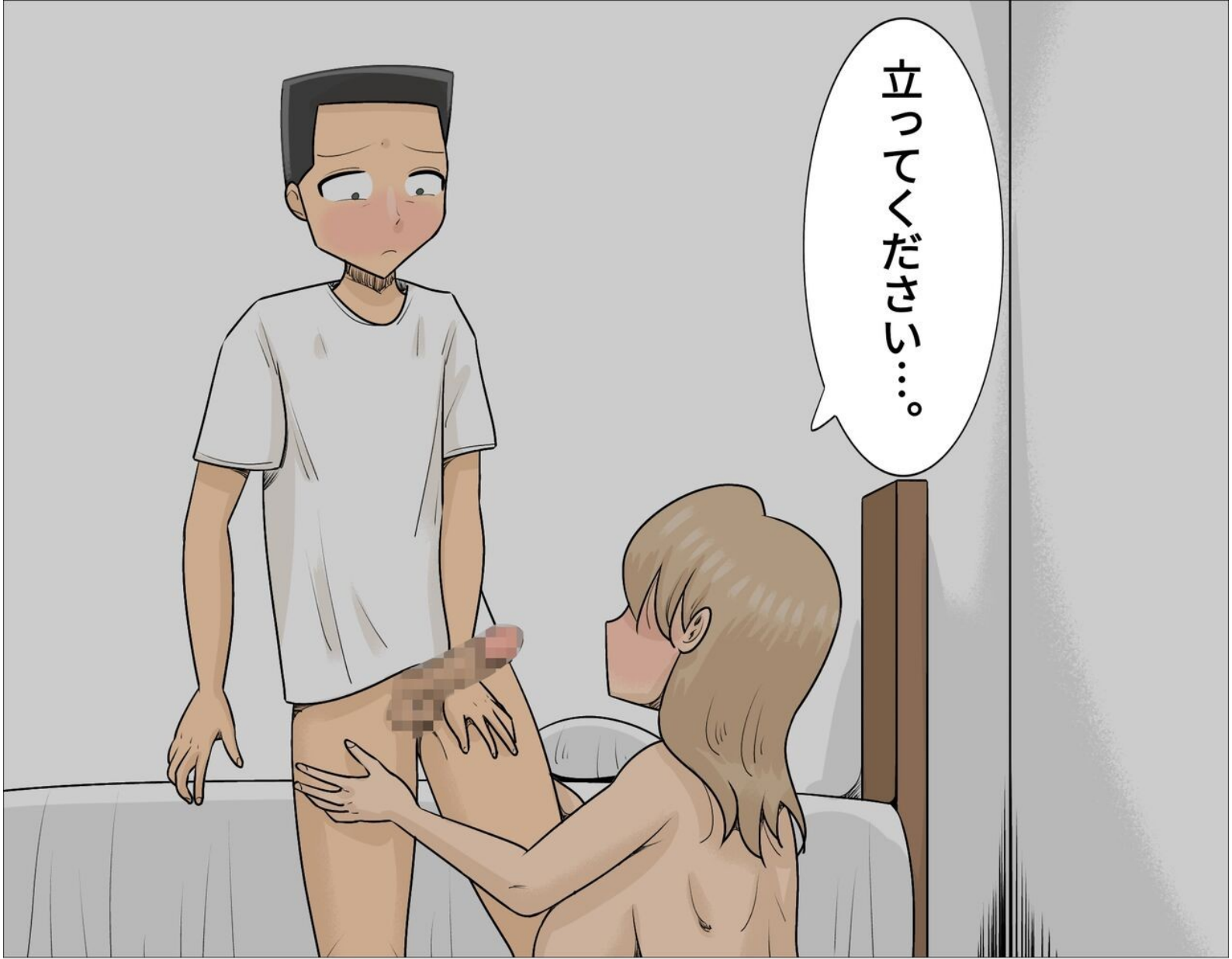
ヒロシさん…。

かっ
っ

かっ
っ

あっ…触ってくれて…
嬉しいです…。
気持ちいいです…。

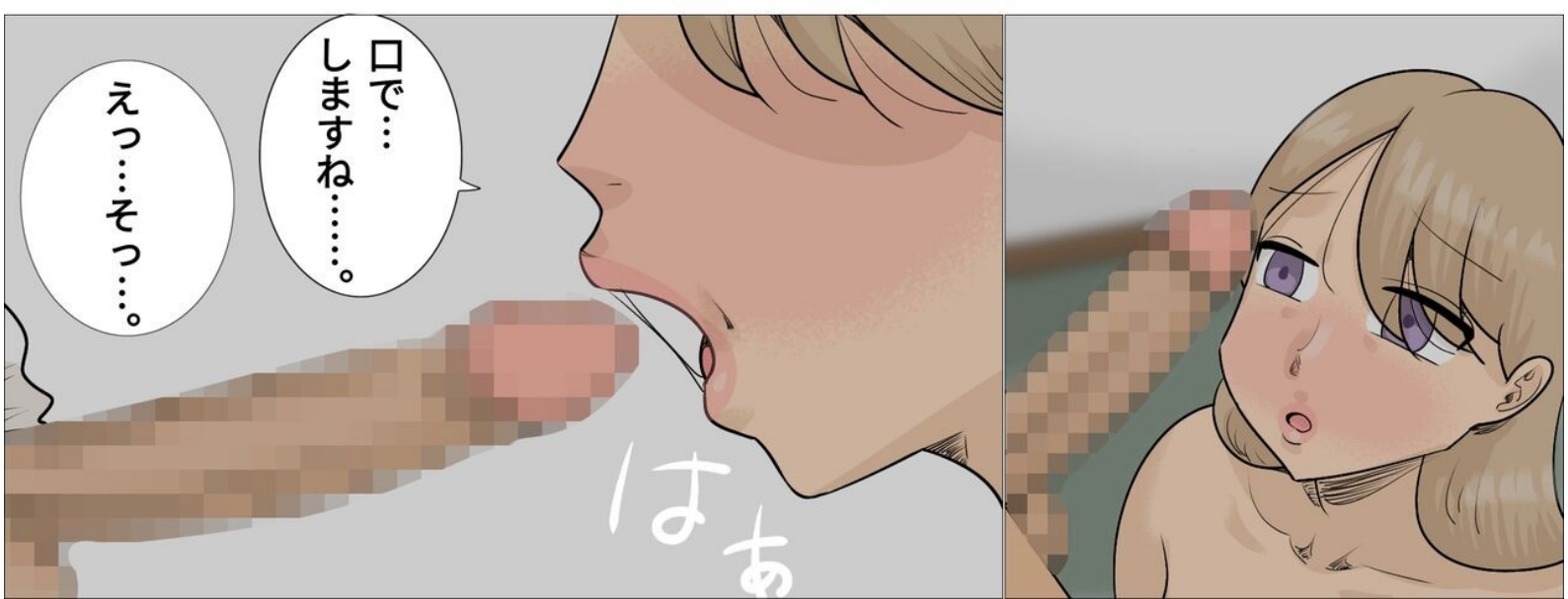




立ってください…。



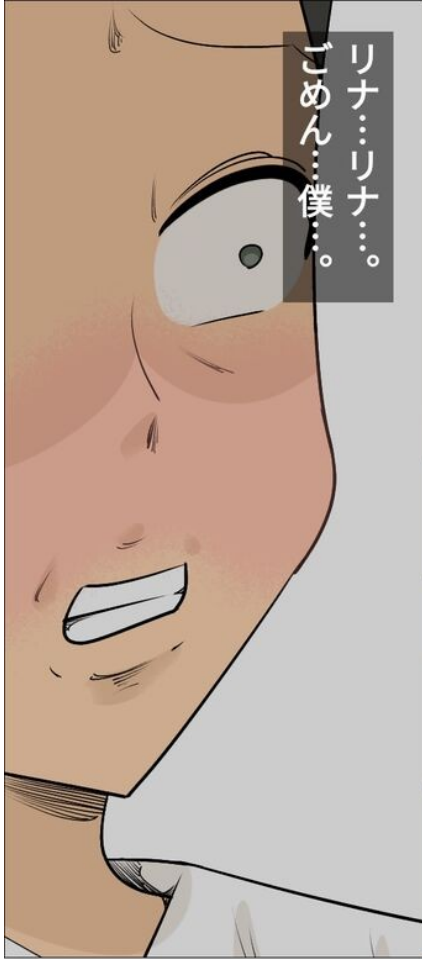
くっ…
こんな姿…
リナに
見られたら…。



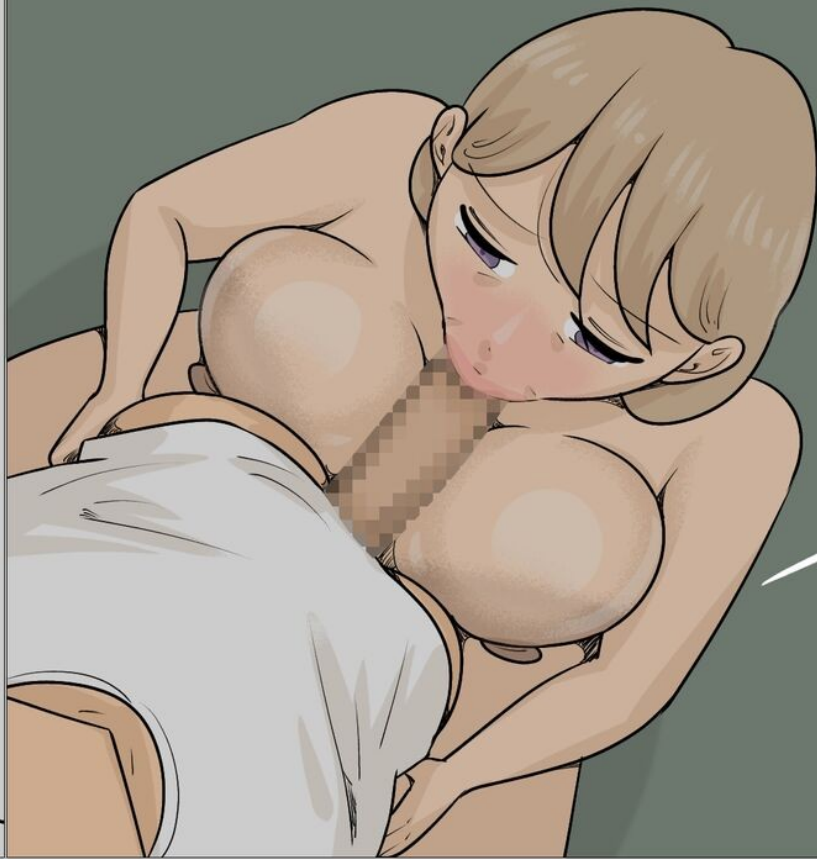
口で…
しますね…。

えっ…そっ…。

はあ

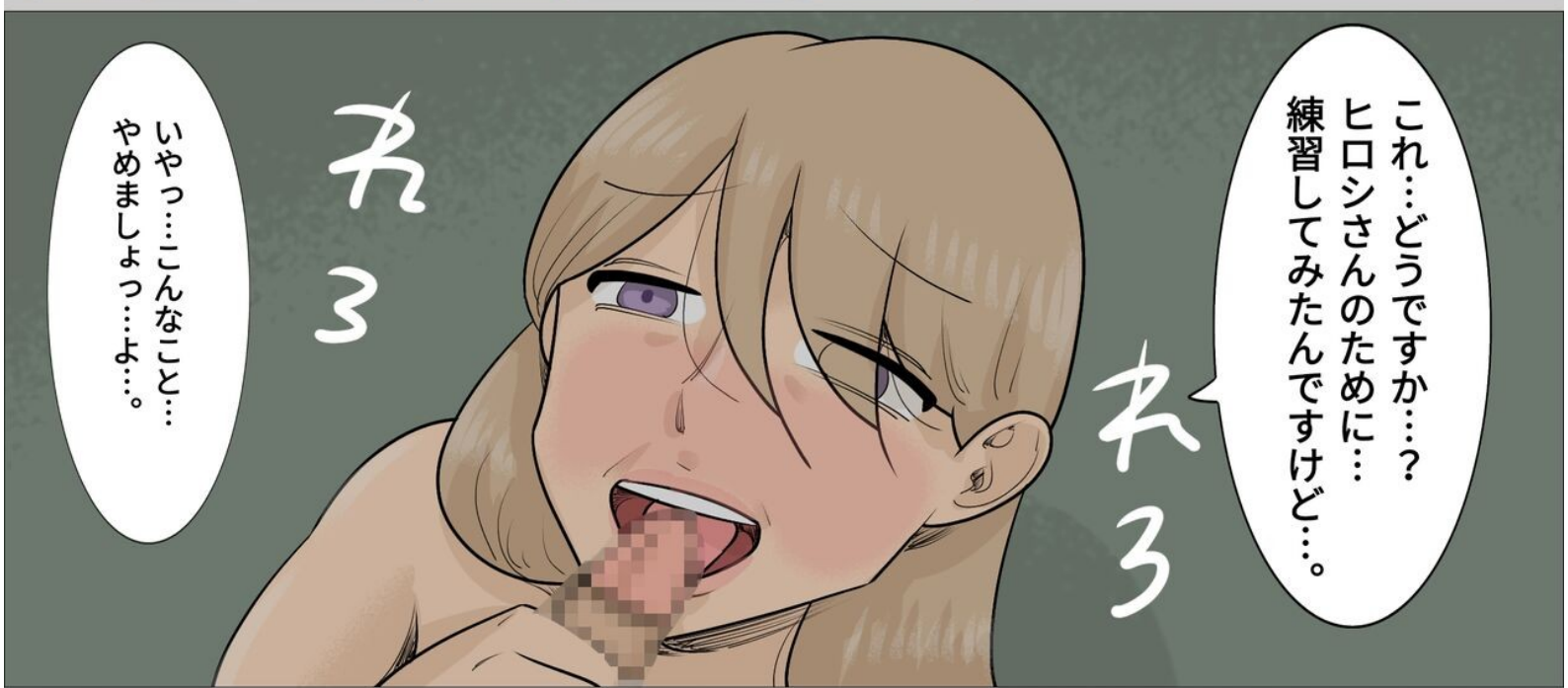


リナ…リナ…。
ごめん…僕…。



あつ…はっ…
そんなっ…
汚いですよっ…。

ちゅっ

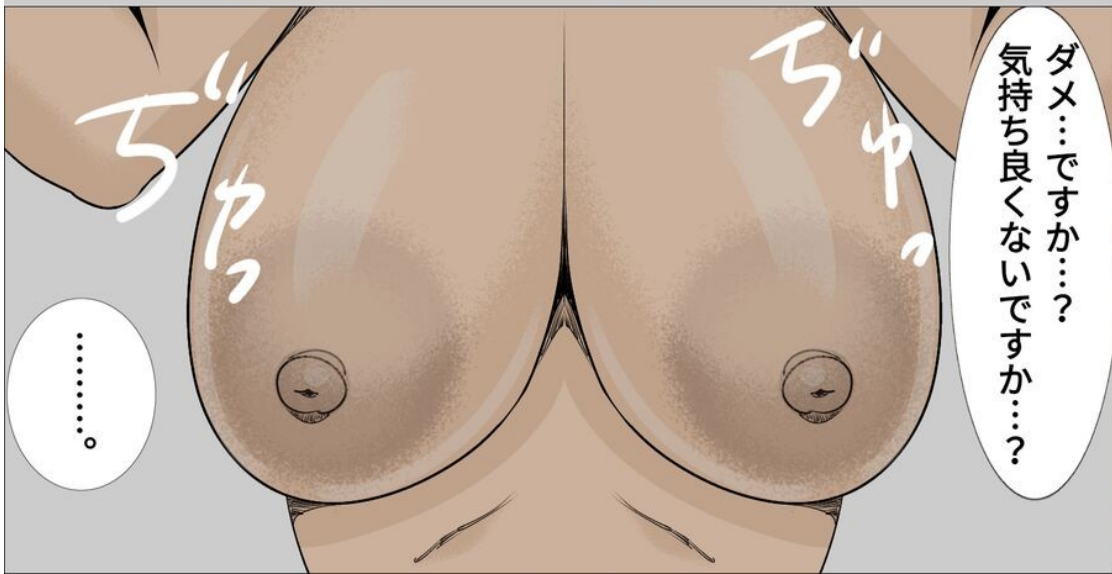


これ…どうですか…？
ヒロシさんのために…
練習してみたんですけど…。

えっ

いやっ…こんなこと…
やめまじっ…。

えっ



ダメ…ですか…？
気持ち良くないですか…？

ちゅっ

ちゅっ

……。



いっ



タマの…裏とかも…
なめられますよ…。

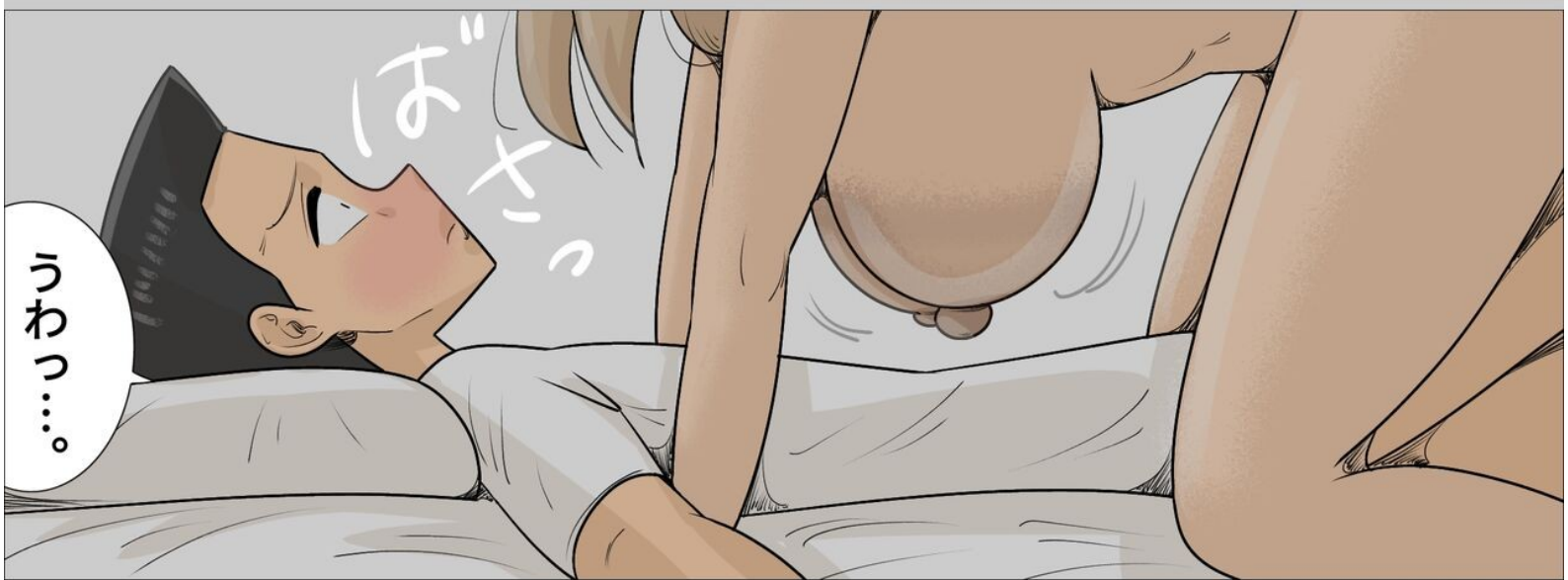
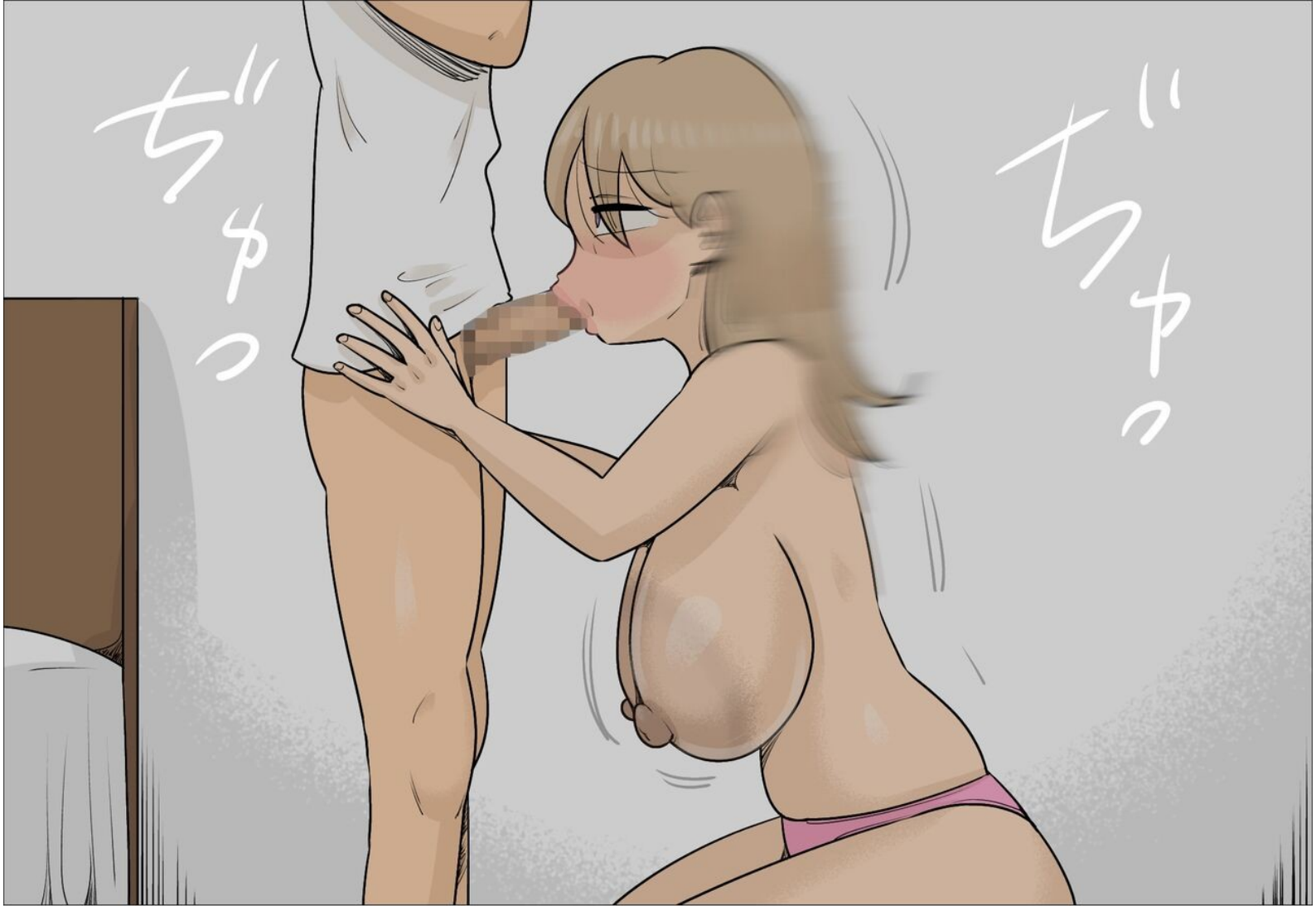


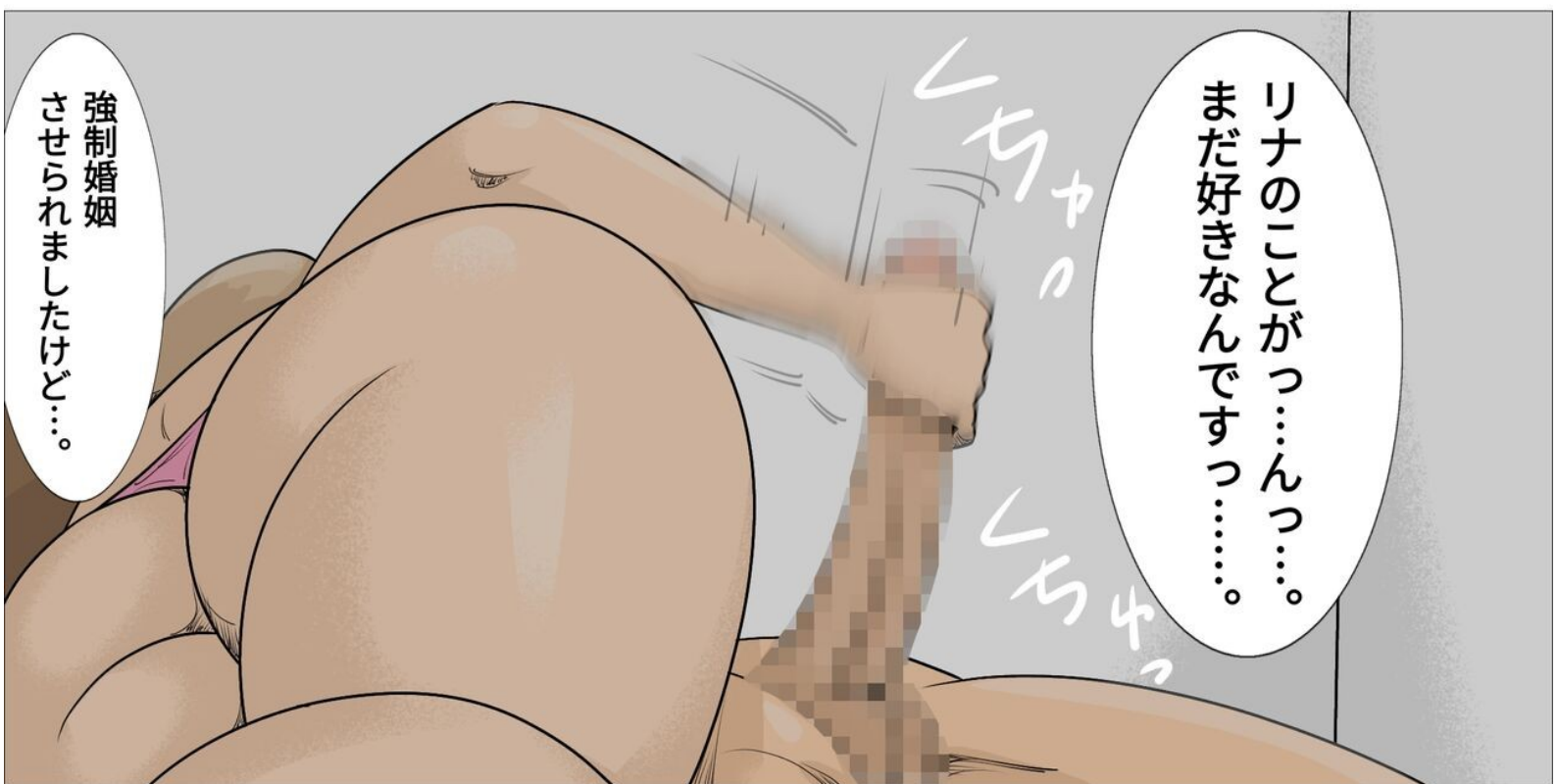
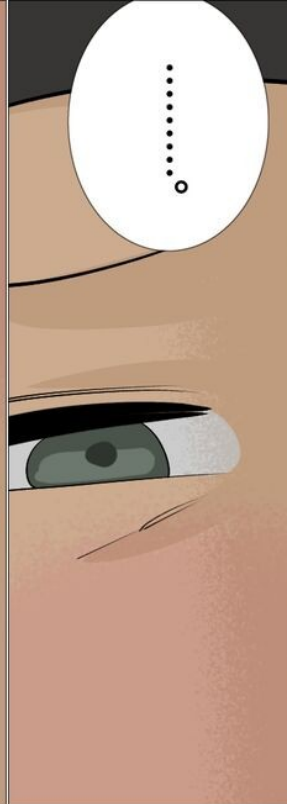
我慢しろ…。こんなことで…
リナを…裏切るわけには…。



んっ…こんなことするの…
ヒロシさんだけ
ですからねっ…？

リナと…あんなに長く…
付き合ってた時間は…
何だったんだよ…つて…
なるじゃないか…。





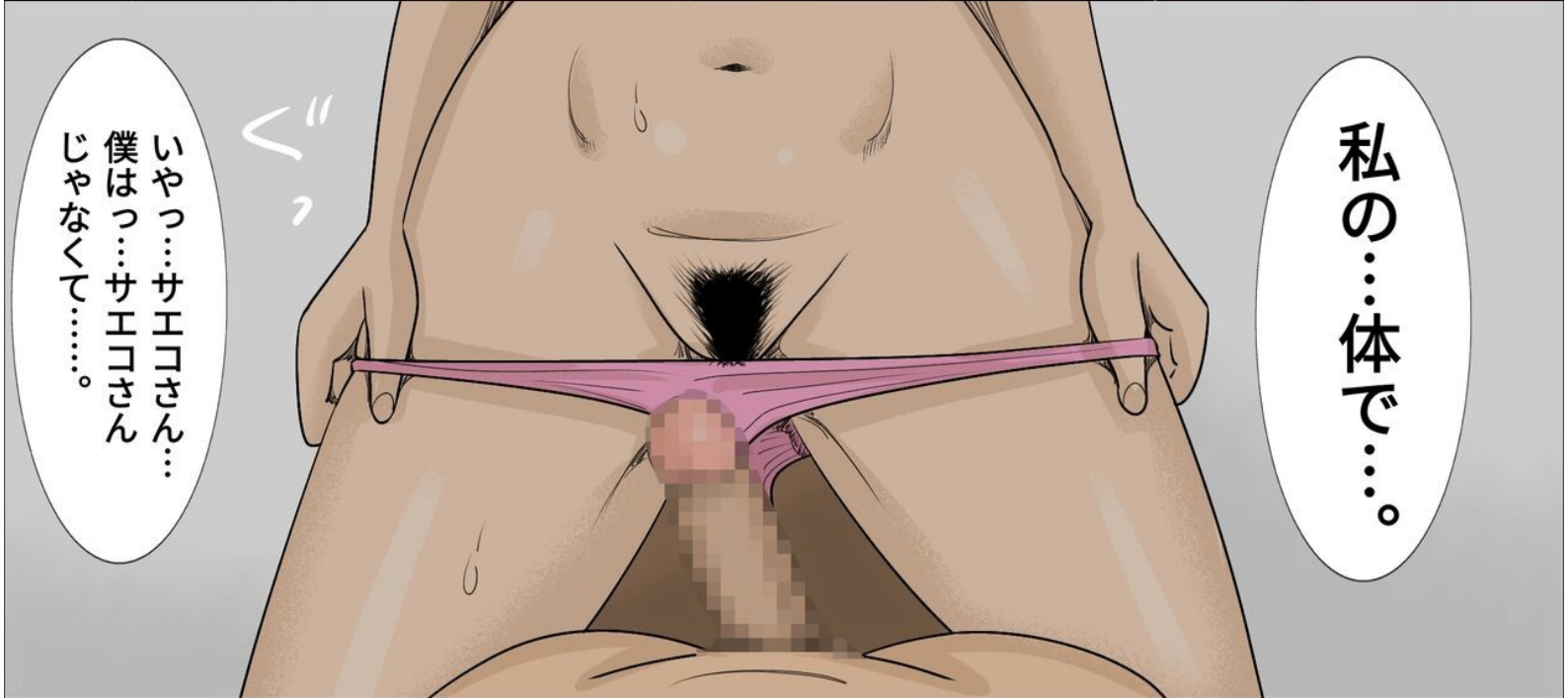


ヒロシさんっ……。

はあ

はあ

試してっ…
くれませんかっ…？



私の…体で…。

ぐっ
いやっ…サエコさん…
僕はっ…サエコさん
じゃなくて…。



私っ…強制婚とか…
関係なくっ…。
ヒロシさんのこと…
好きなんですっ…。

この歳になって…
結婚とか…。
諦めてましたっ…。

でも…。

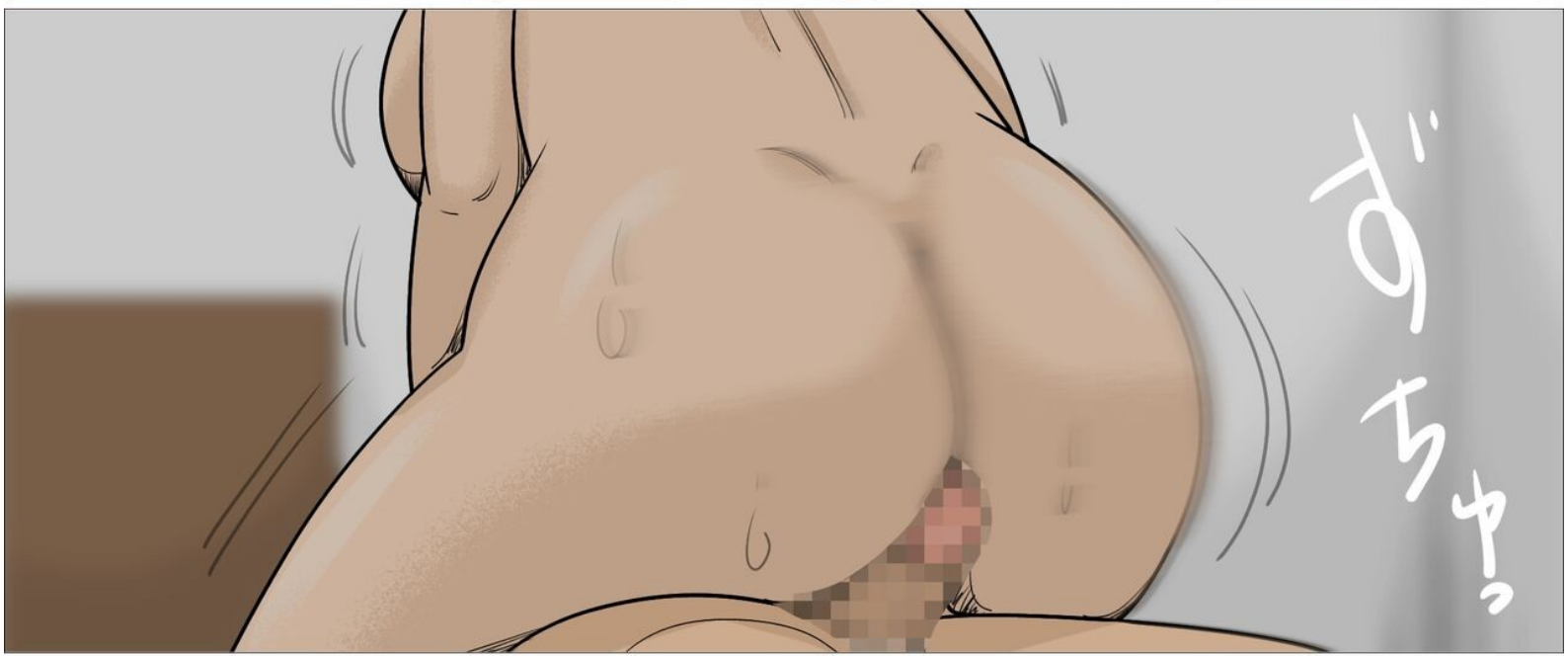
ずちゅっ

ずちゅっ



ああっ…私…この人の…。
赤ちゃんを産みたいって…。
思いましたっ…………。

ある日っ…こんなに…
可愛らしい…男の人が…
私の…夫になってくれたんです…。



ずりちゃっ



僕はまだ…
リナがっ…………。

ぐちゅっ



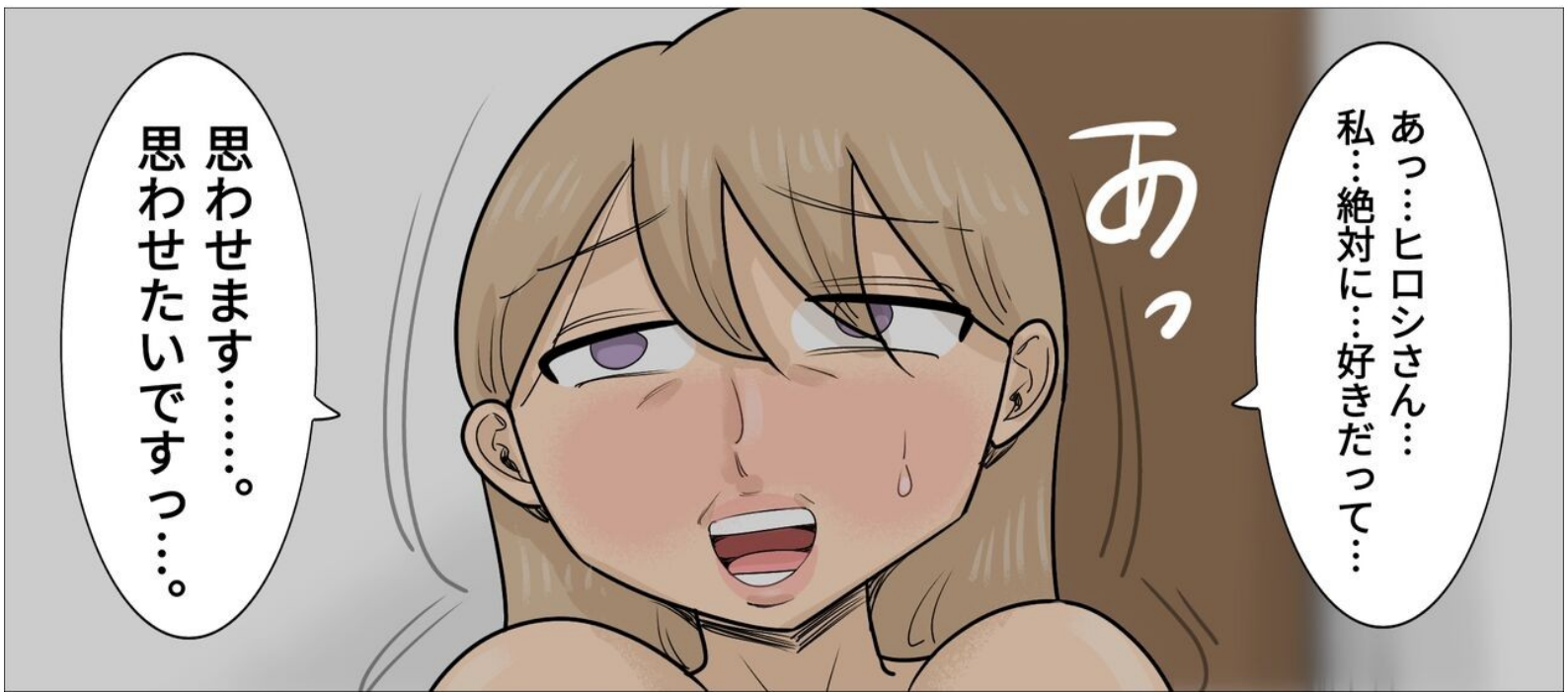
ありがとうっ…
ございっますっ…。
サエコさん…
でもっ…………。



だから…。
リナさんの…ことはっ…
忘れてほしいです…………。

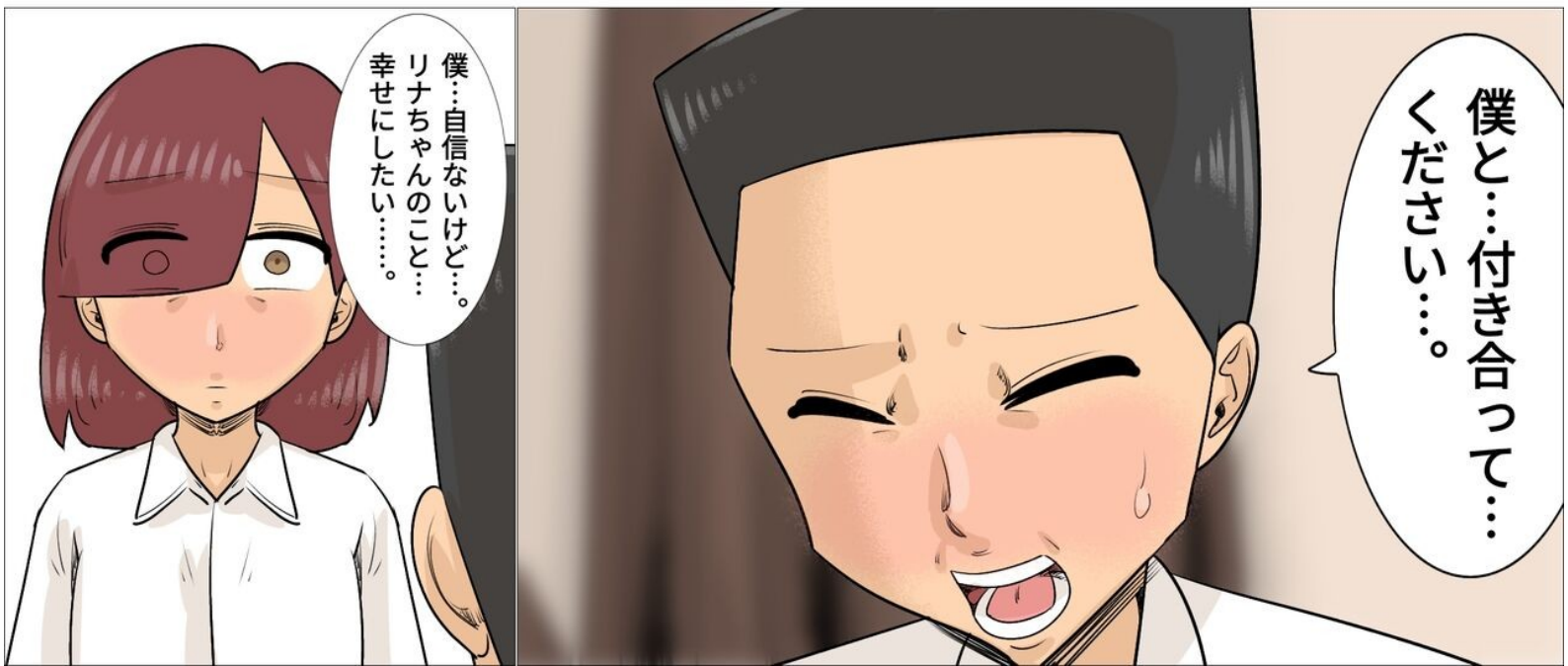
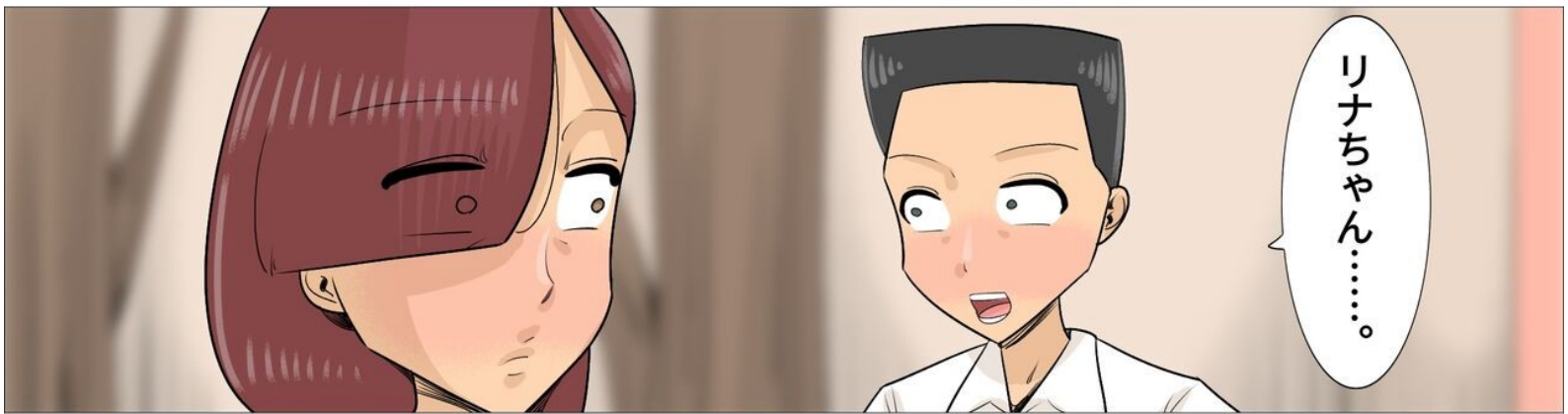


好きでっ…
あっ……。



あっ……ヒロシさん…
私…絶対に…好きだって…

思わせます……。
思わせたいですっ…。



うん…うん…。

私も…ヒロ君の…好きだから…。

リナ…。

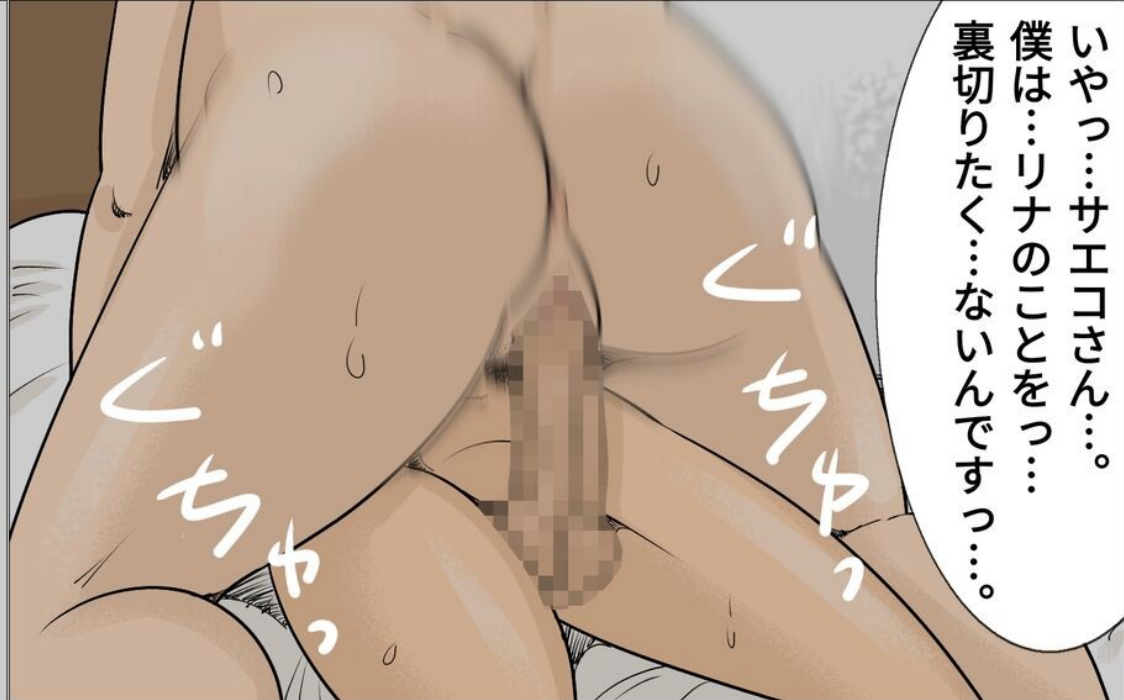
はあ
あ、

ヒロシさん…
中に出してくださいね…。
遠慮しないでいいですから…。

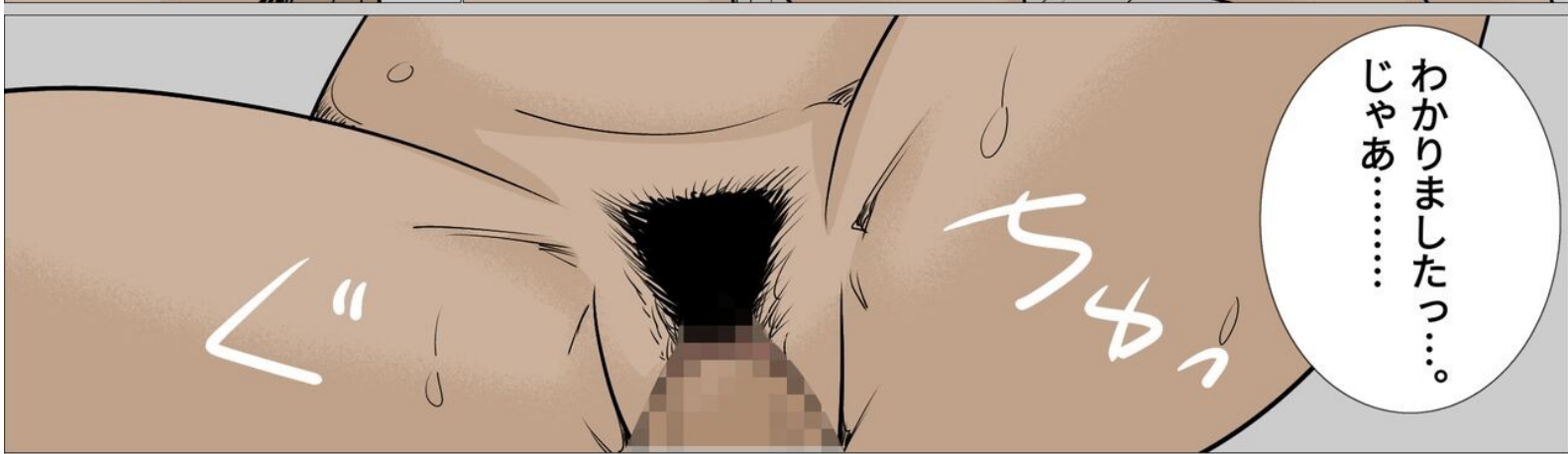
はぁ
ん

私のこと…ヒロシさんの…
女にしてください…。

ちゅっ
じゅっ



いやっ…サエコさん…。
僕は…リナのことを…
裏切りたく…ないんですっ…。



わかりましたっ…。
じゃあ…。



私の中に出したらっ…
私のこと…好きになってくれたって
ことでいいですよね…？

はあ

あつ……。いやつ……。
そんなっ……激しくっ……
しないです……。……。

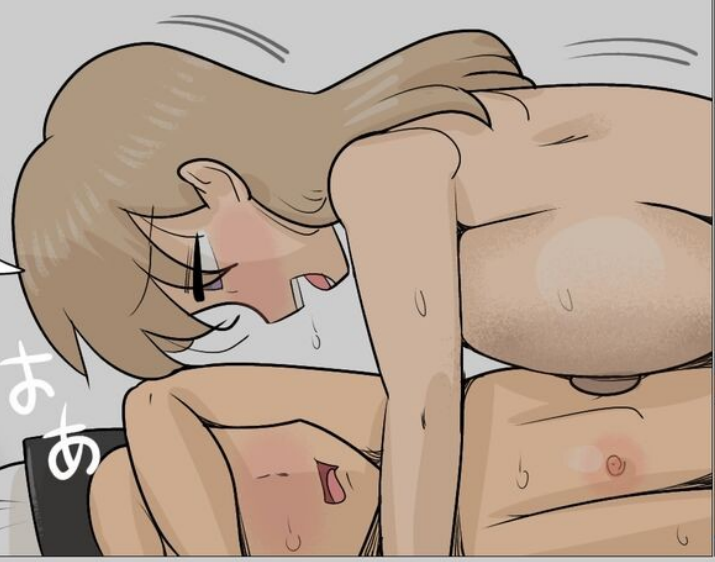
ぐい
ちゅっ

ぐ
ちゅっ



ヒロシさん……。
私の……赤ちゃん……
くださいっ……。……。
大好きですっ……。……。

はあ



リナ……。助けて……。
リナ……。……。

あ

ヒロ君……。……。
ヒロ君……。……。



んっ
んっ

あつ...だめっ...。
いっっちゃう...。

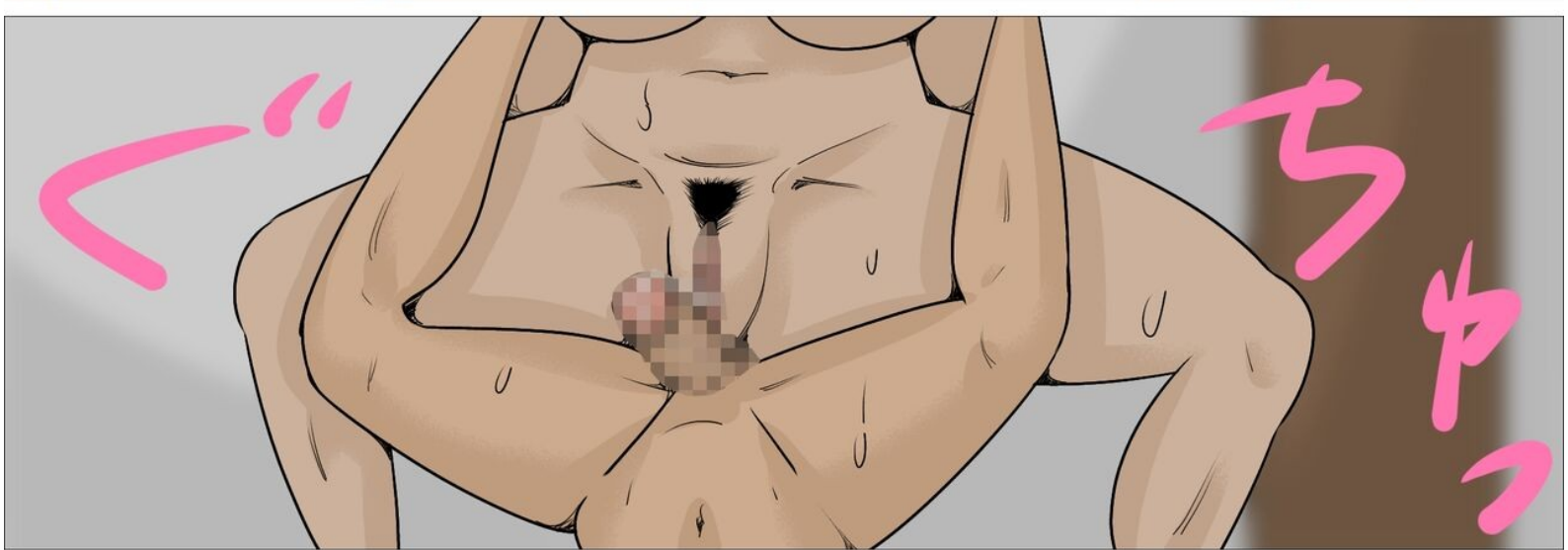
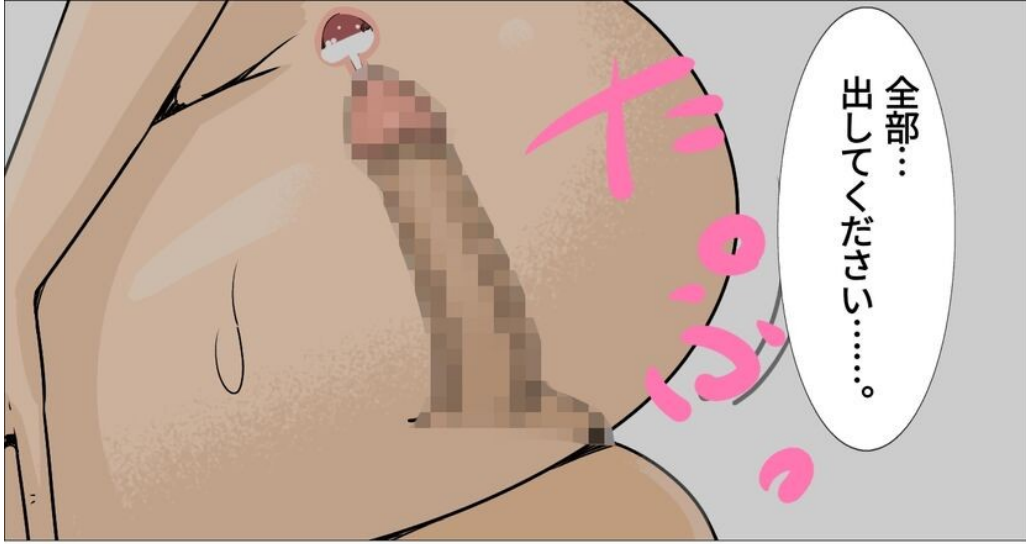
ヒックッ

はぁ
あ

あ

は
あ

ぐ
ちゅ



特殊なルールがある。
強制婚によって無理やり
別れることになってしまった
カップルは面会ができるのだ。

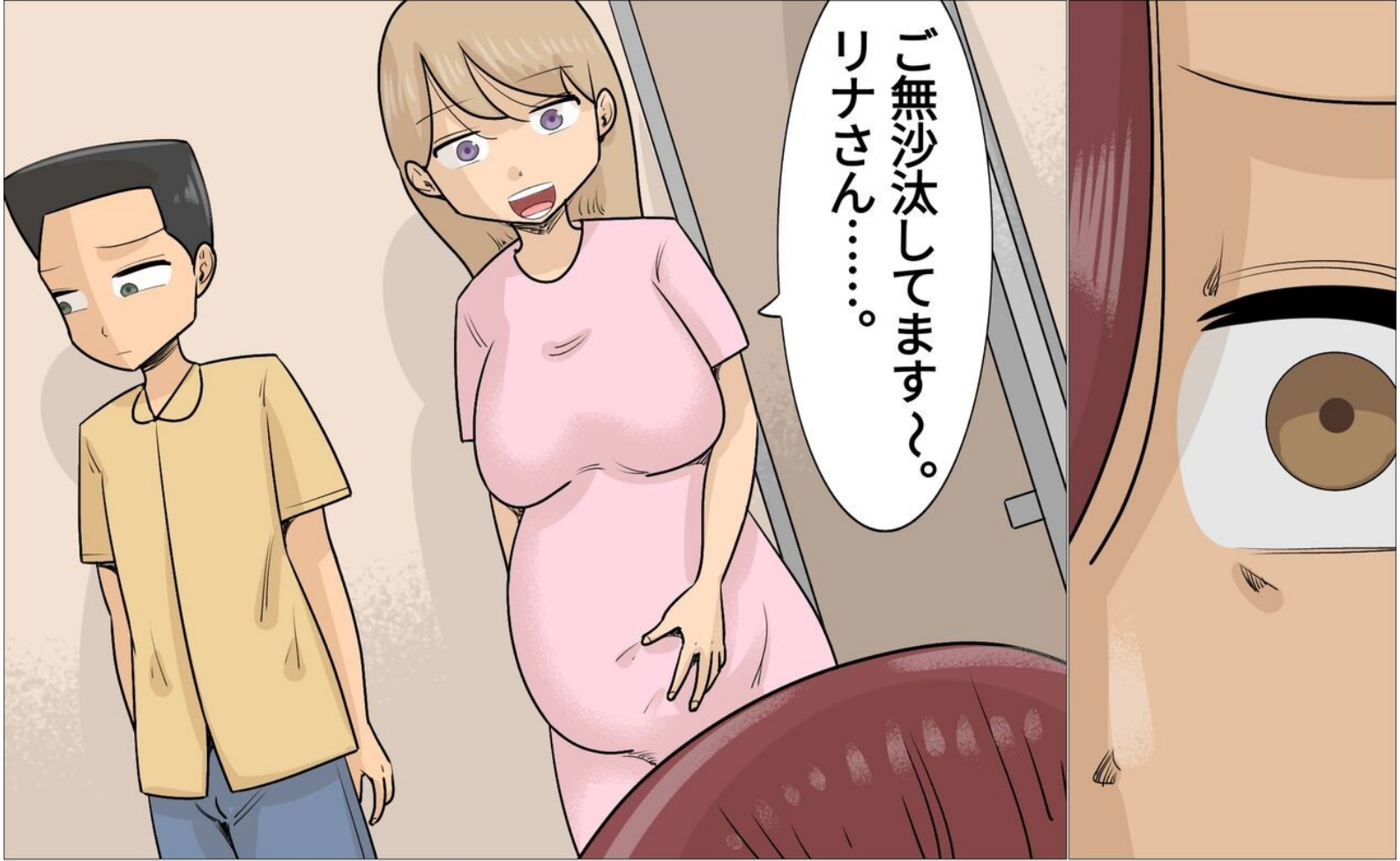
ヒロ君……
元気かな……。

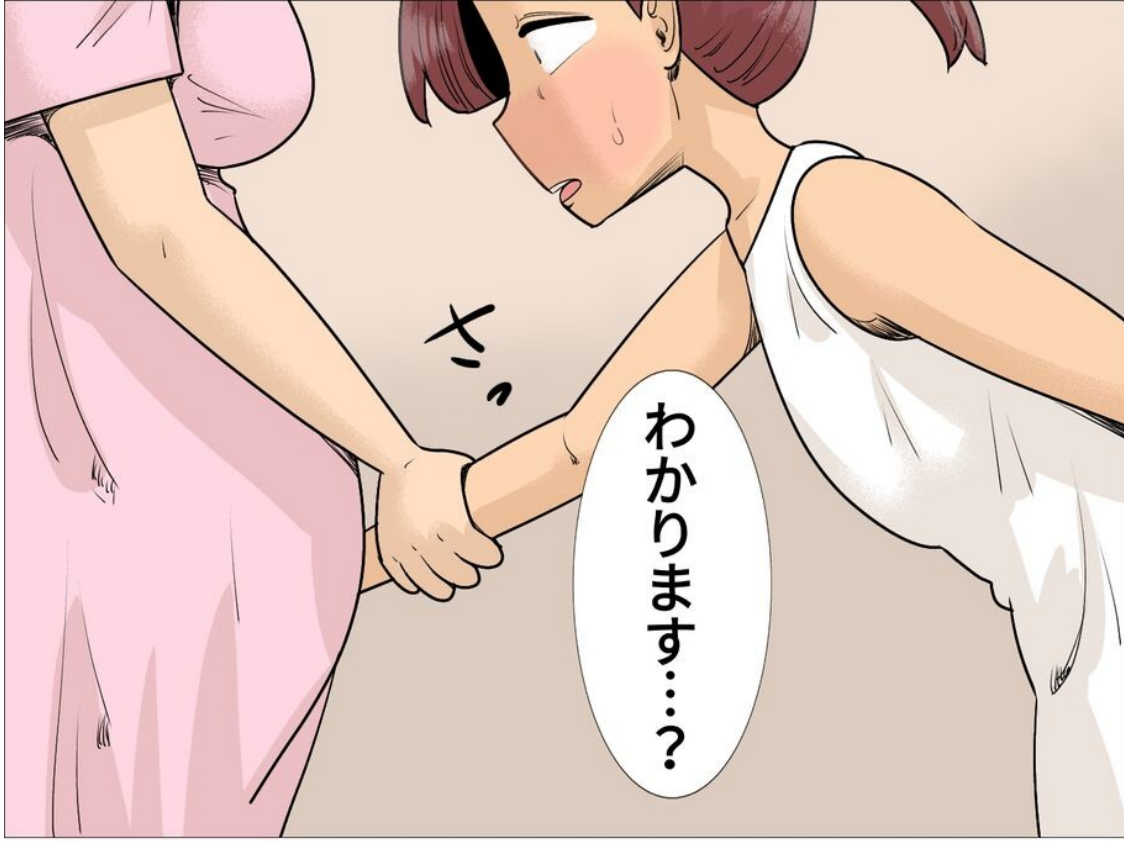
ガチャ

ヒロ君……!!

元気そう……だね……。
よかった……。

う、うん……。
リナも……
元気そう……だね……。

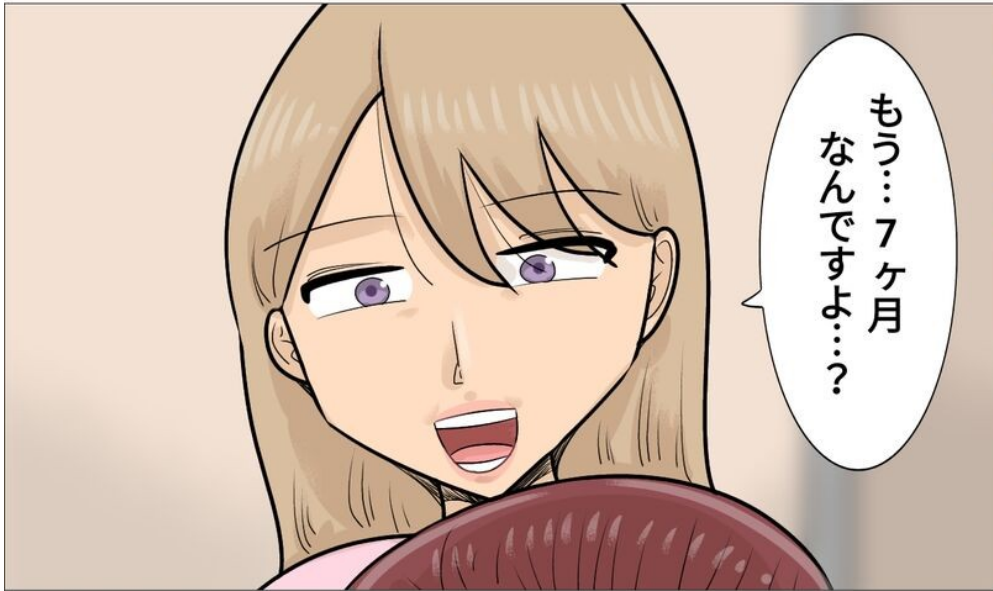




わかります…？



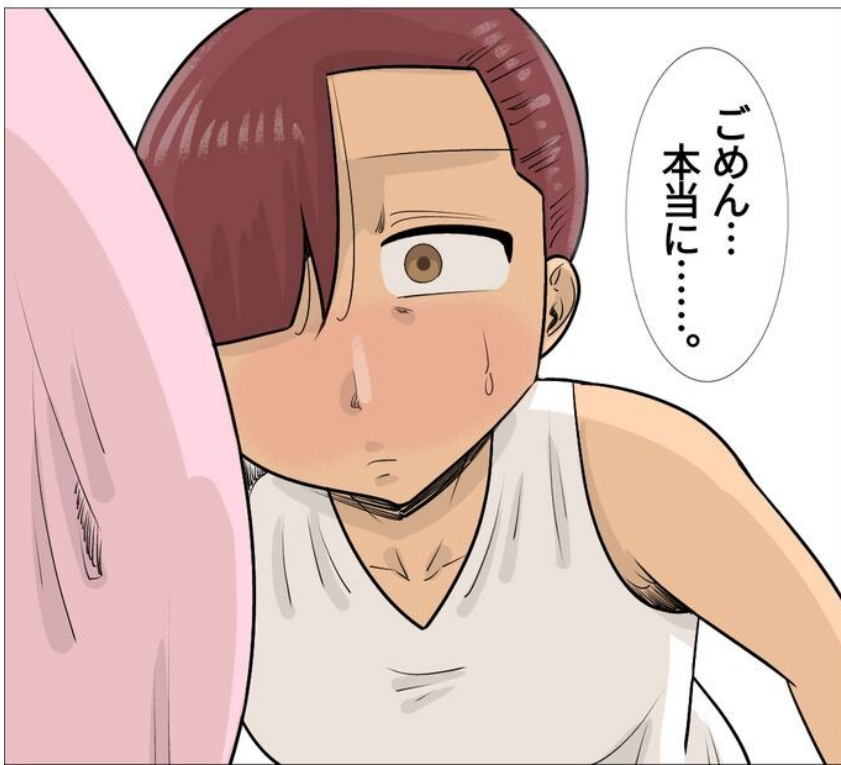
グハッ



もう…7ヶ月
なんですすよ…？



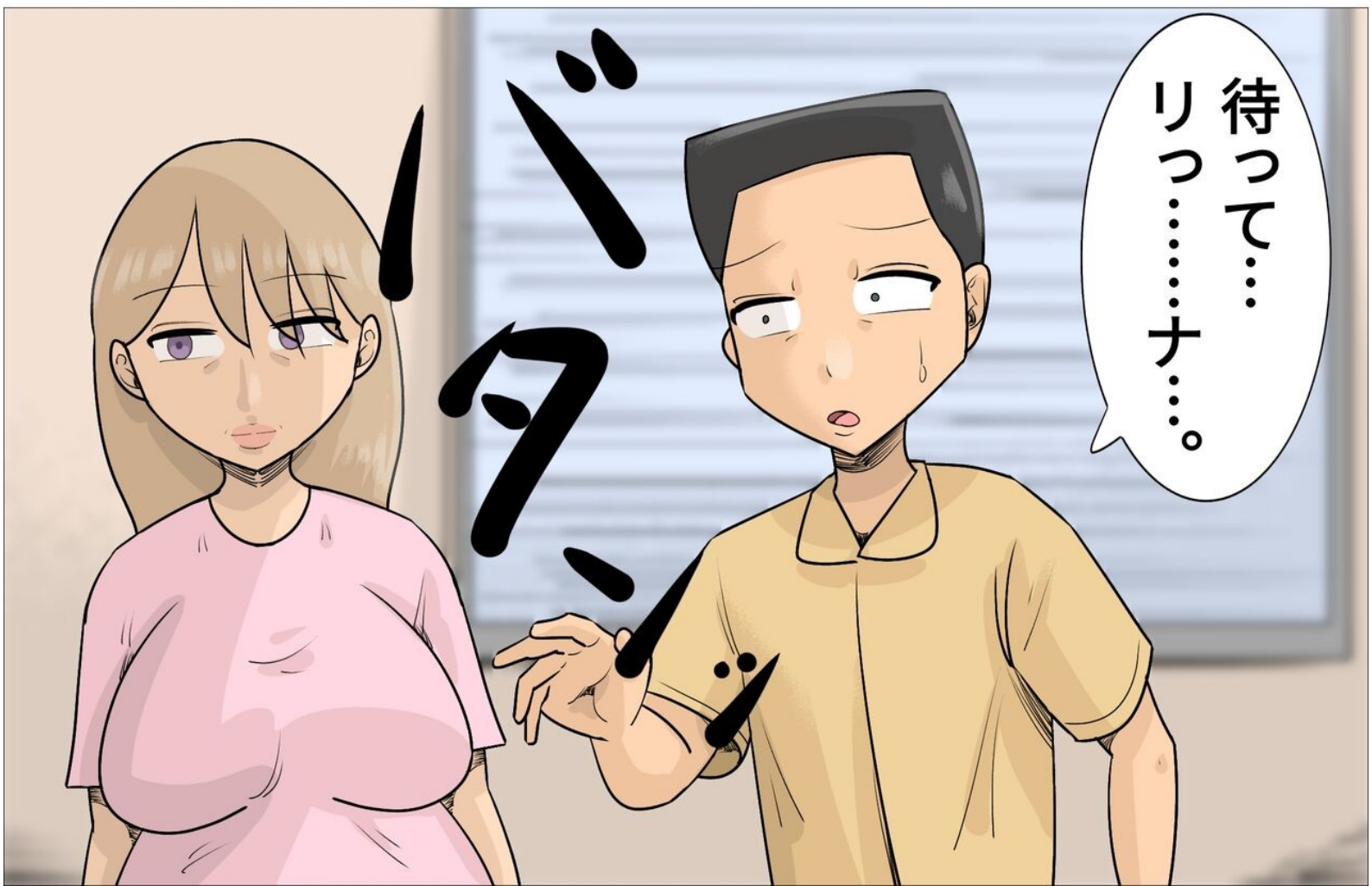
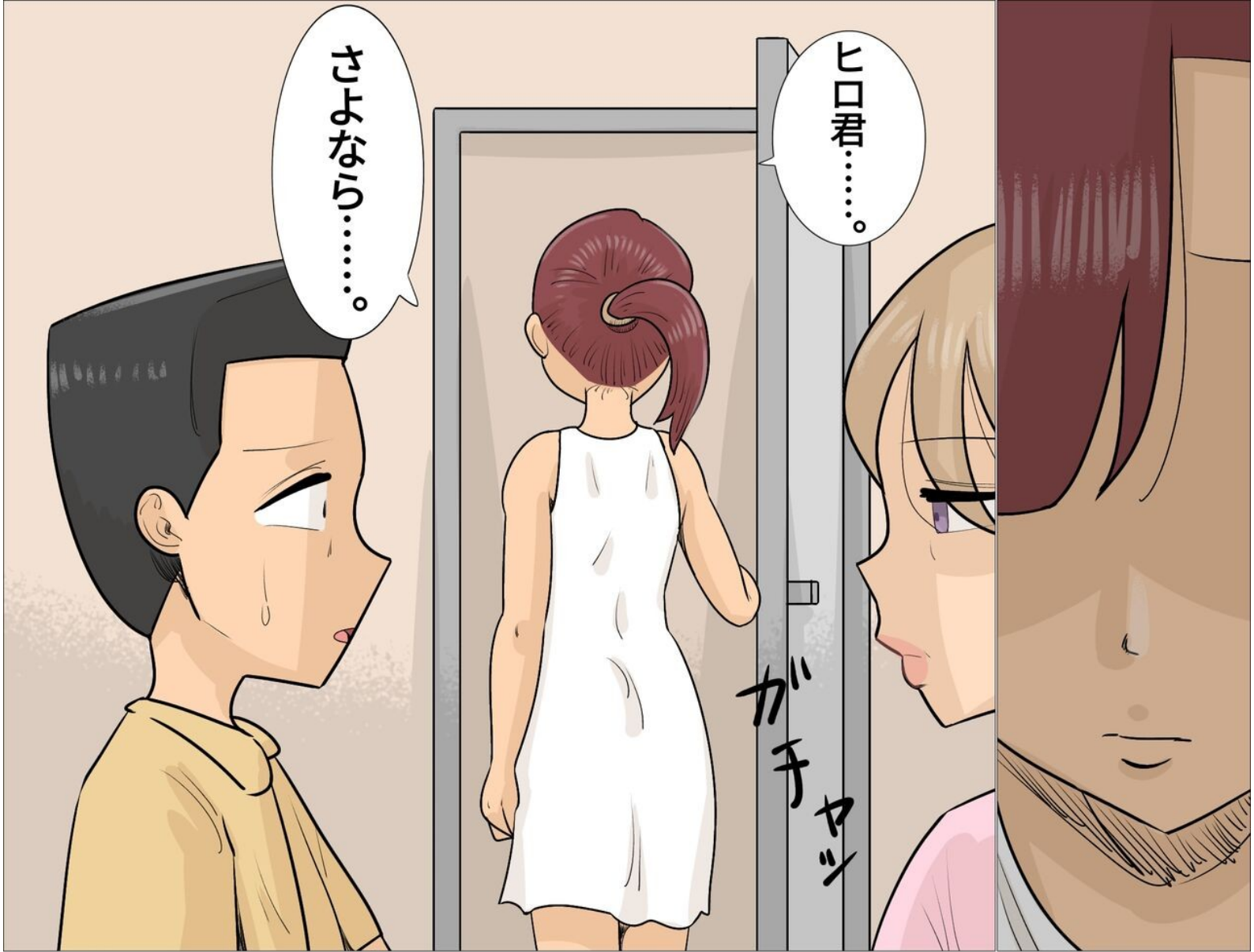
ヒロシさんの…
赤ちゃんです…。



しめん…
本当に…。



リナ…これは…
その…。



じゃーん、どうですかー？
ヒロシさん…。

ガチャッ

じゃーん

今日は…ソソいっの
着てみたんですけど…。

興奮する…？

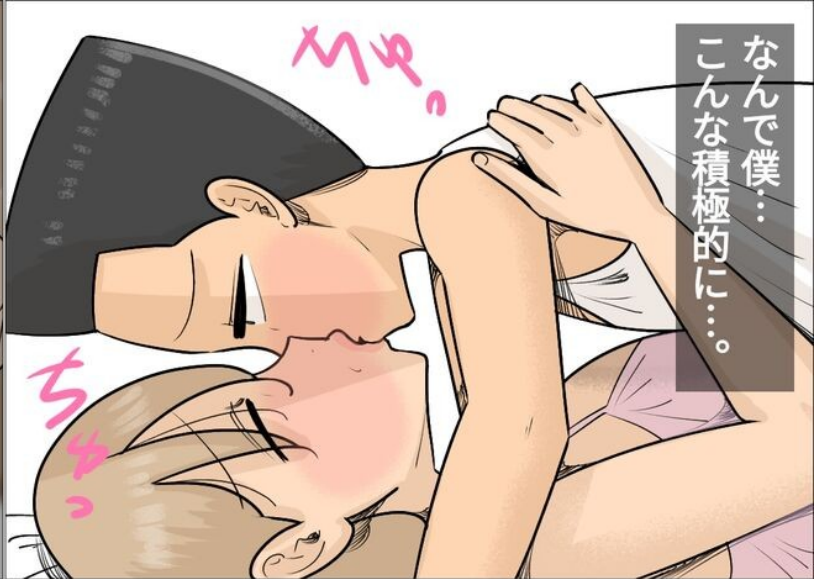
いや…サエロさん…。
もう臨月も近いんだし…。
しばらくは…そっいっの…
やめようよ…。

えー、やだー。
毎日ヒロシさんに
愛されないと
私死んじゃいますー！

ギッ



なんだろう... はじめは...ずっと...
リナと一緒にいたから...サエコさんに対して...
嫌悪感がなかったけど...



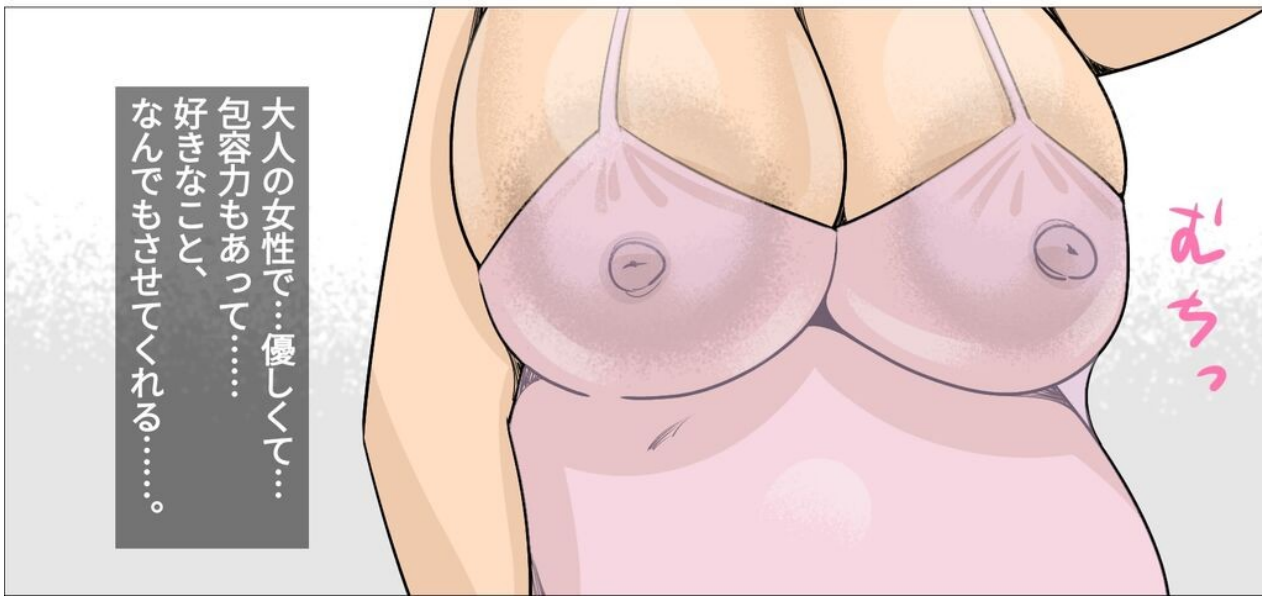
なんで僕...
こんな積極的に...。



リナにも...
振られて.....。

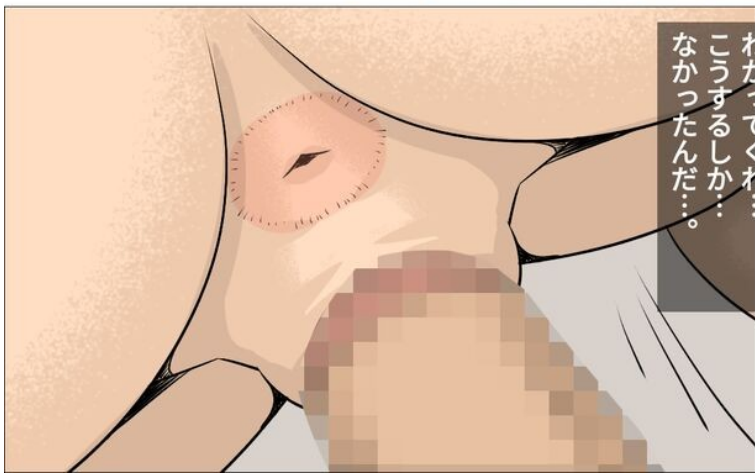
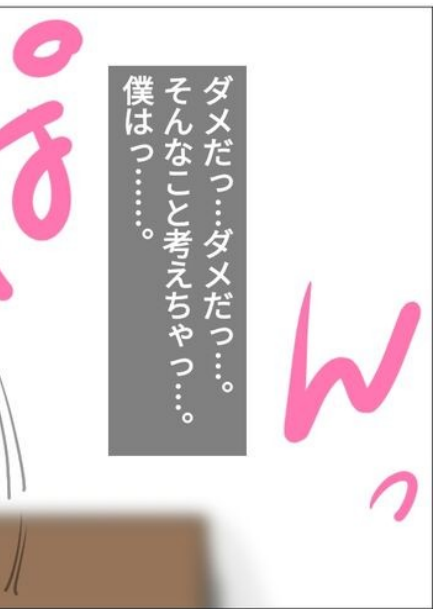
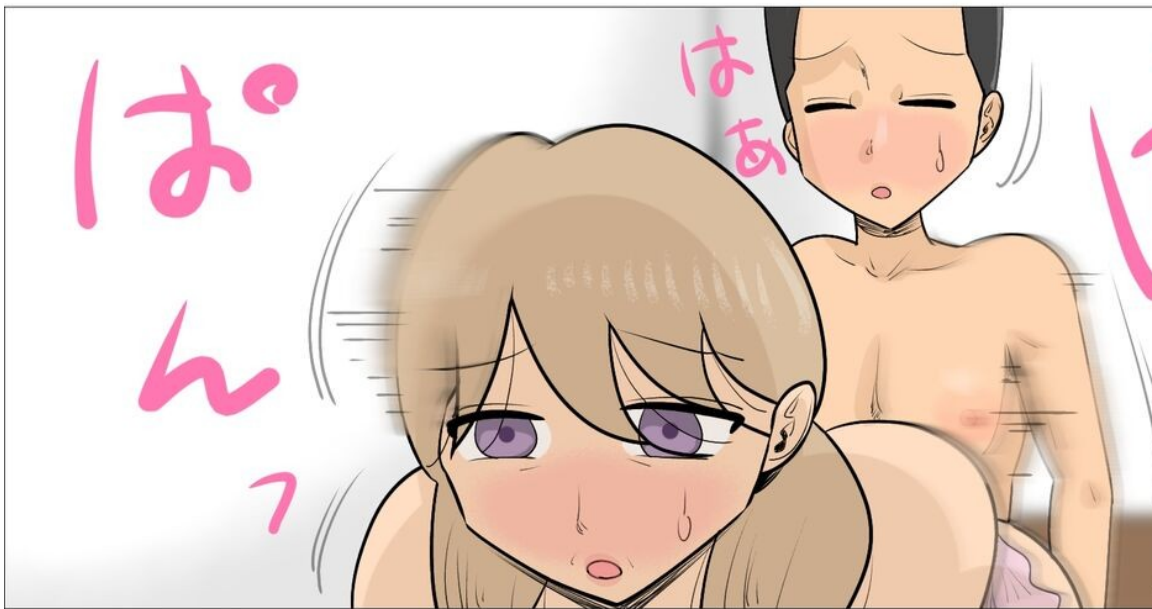


今は...。



大人の女性で...優しくて...
包容力もあって...
好きなこと、
なんでもさせてくれる.....。

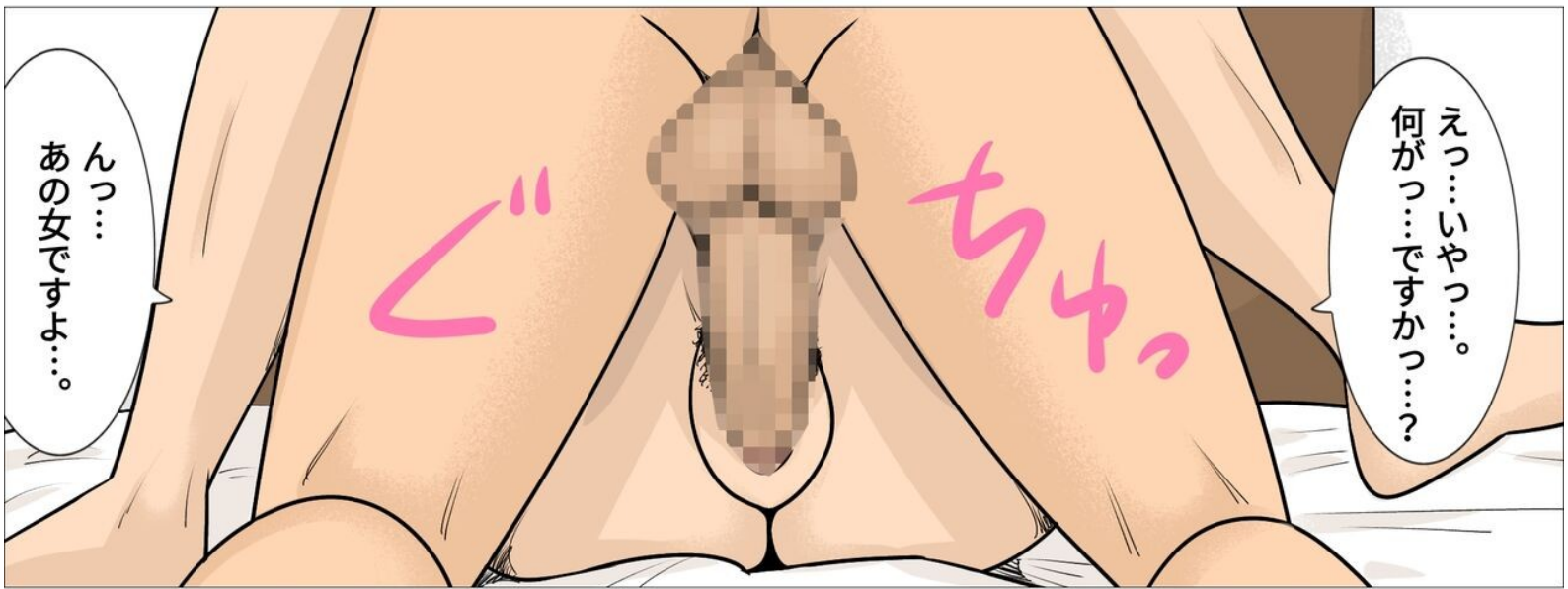
サエコさんとの...関係に...
満足してる...自分がある.....。



リナっ……。
ごめんっ……だけど……
わかってくれ……
こうするしか……
なかったんだ……。

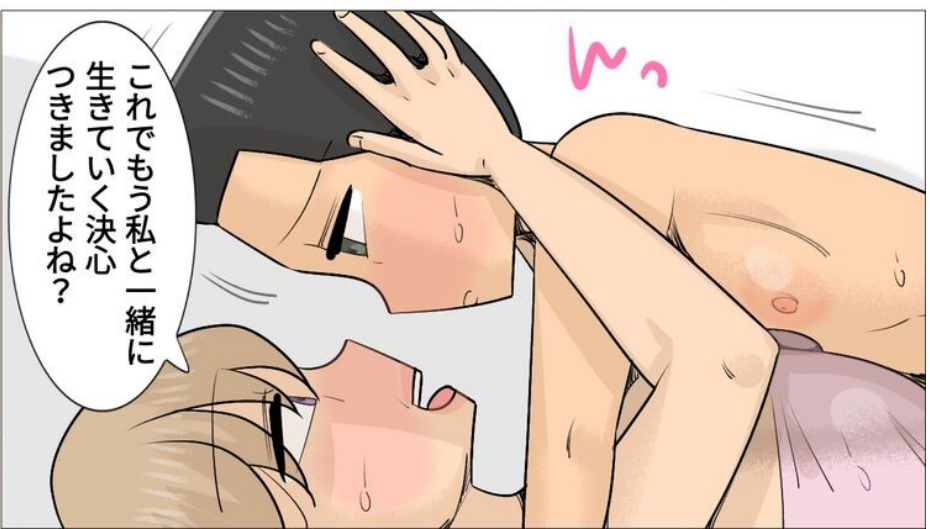


ヒロシさん…
やっと…邪魔者が…
いなくなりましたね…。

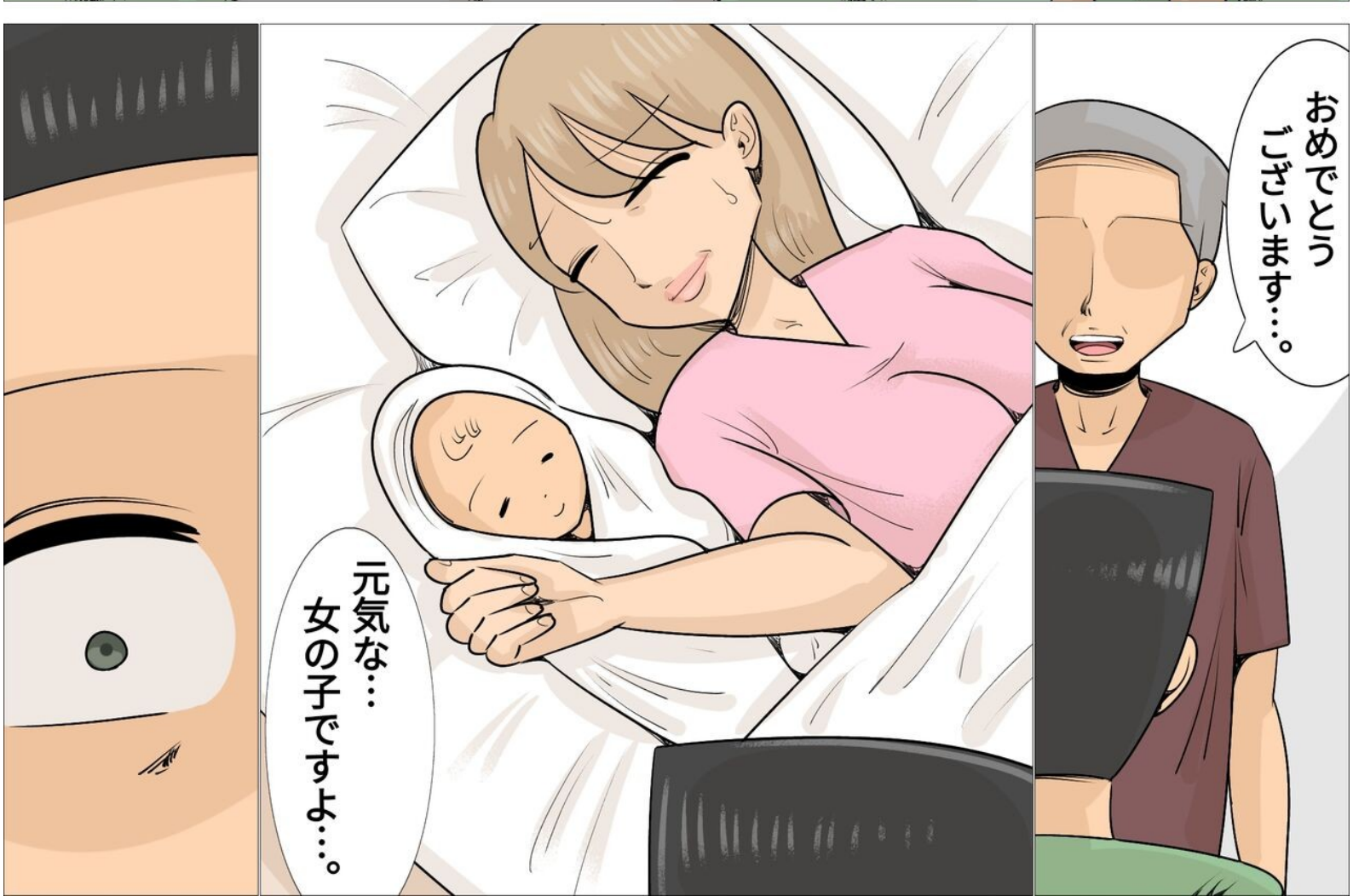
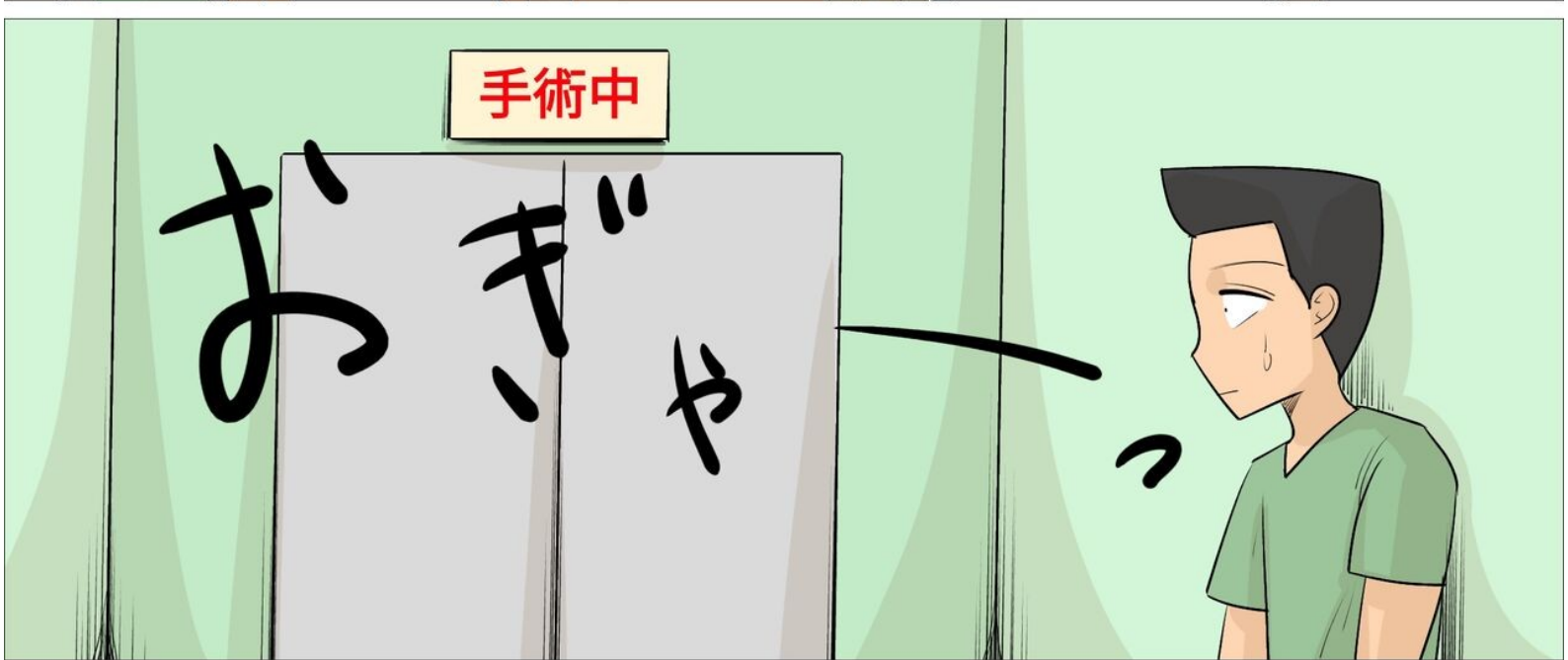


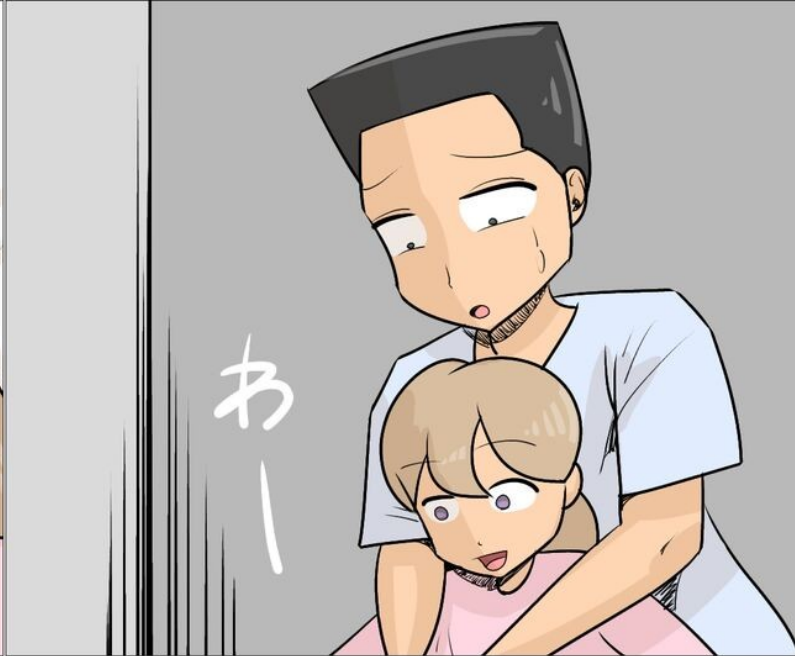
えっ…いやっ…。
何がっ…ですかっ…？

んっ…
あの女ですよ…。



これでもう私と一緒に
生きていく決心
つきましたよね？





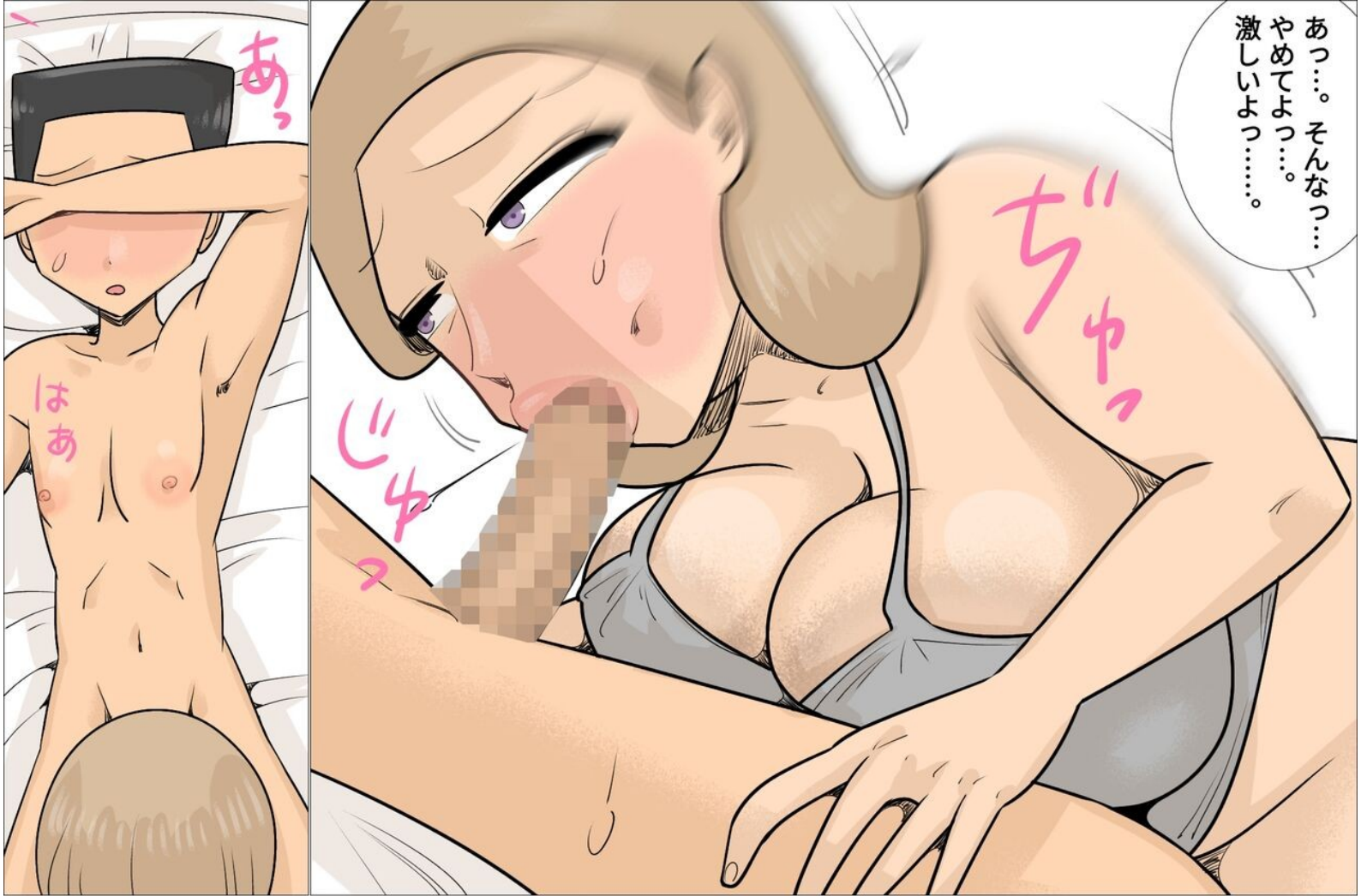
ああっ…危ないっ……。
そんな走っちゃ……。



……
うん……。

あなた……
今日……いい……？

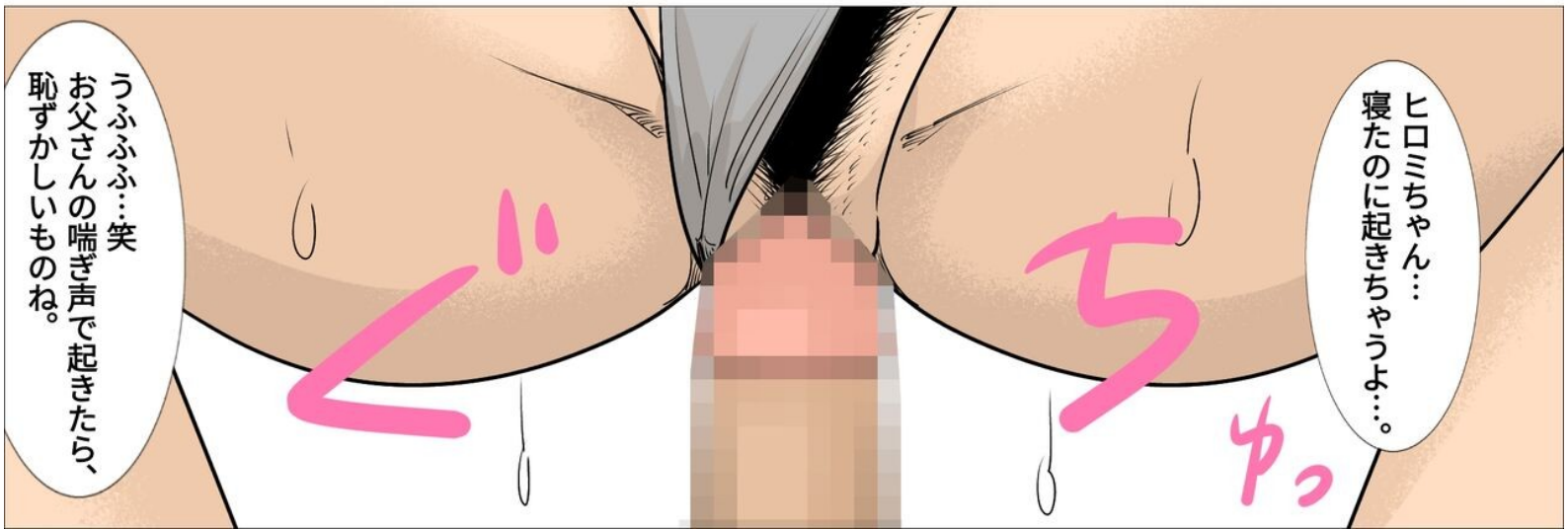
二人も……
そろそろ……ね……？



あつ…。そんなつ…
やめてよつ…。
激しいよつ…。



えへへ…
産後だからかな…？
なんか…すっごく…
性欲増しちやって…。



ヒロミちゃん…
寝たのに起きちやうよ…。

うふふふ…笑
お父さんの喘ぎ声で起きたら、
恥ずかしいものね。



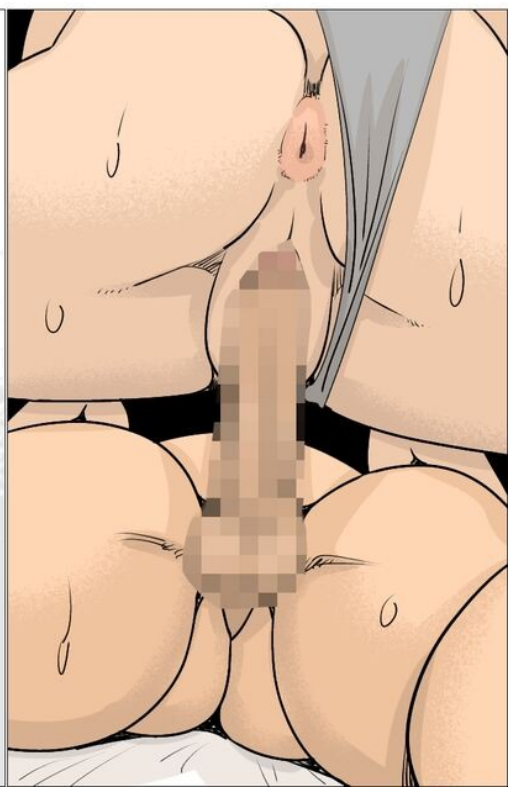
あつ…
挿入っちゃった…。

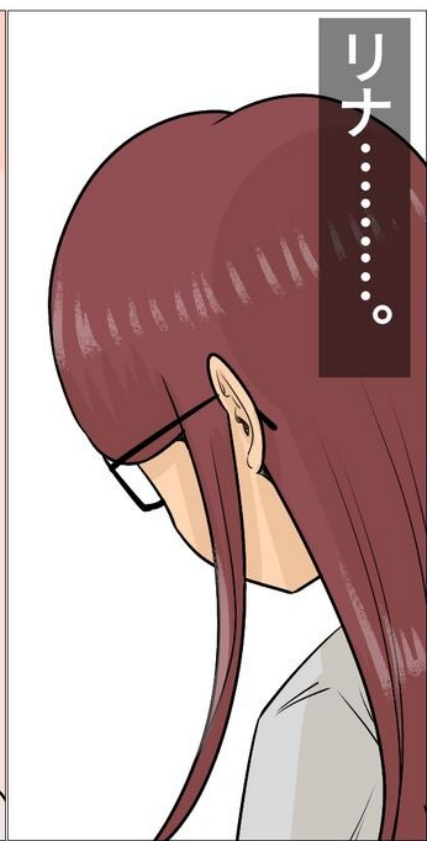
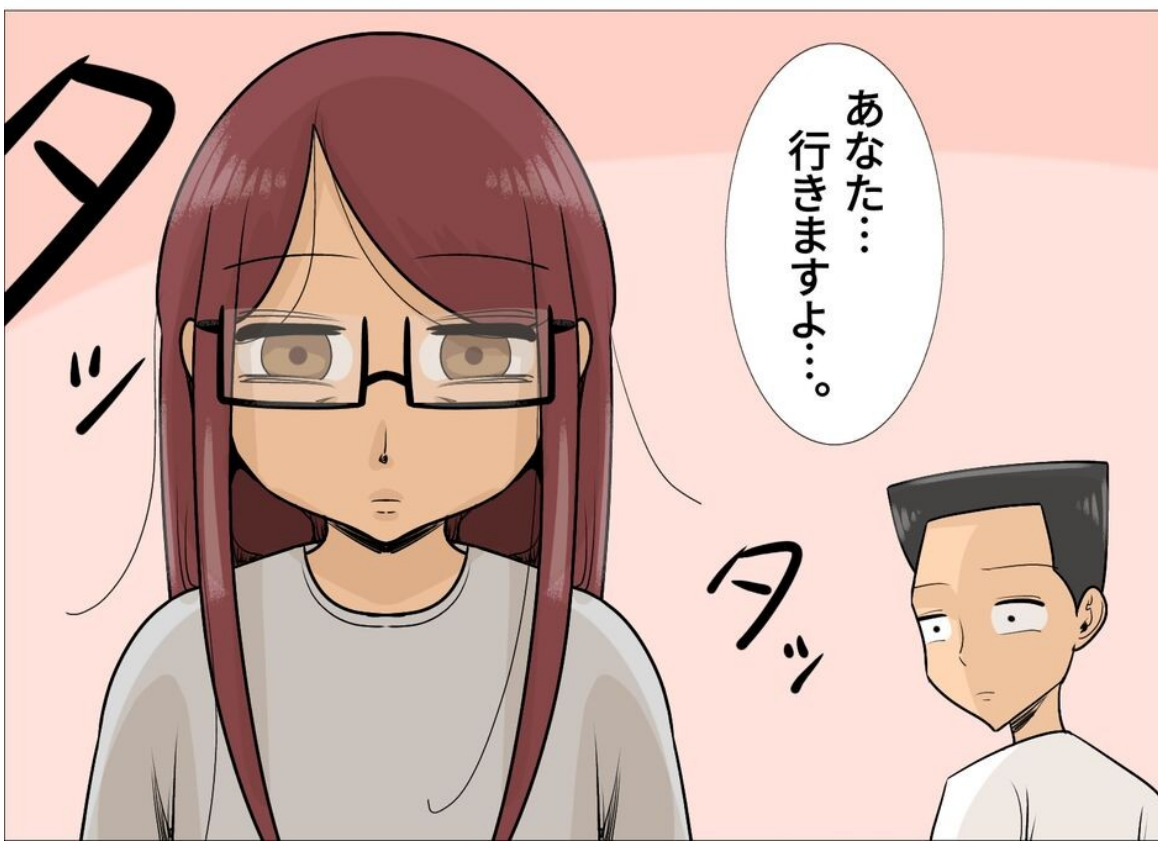
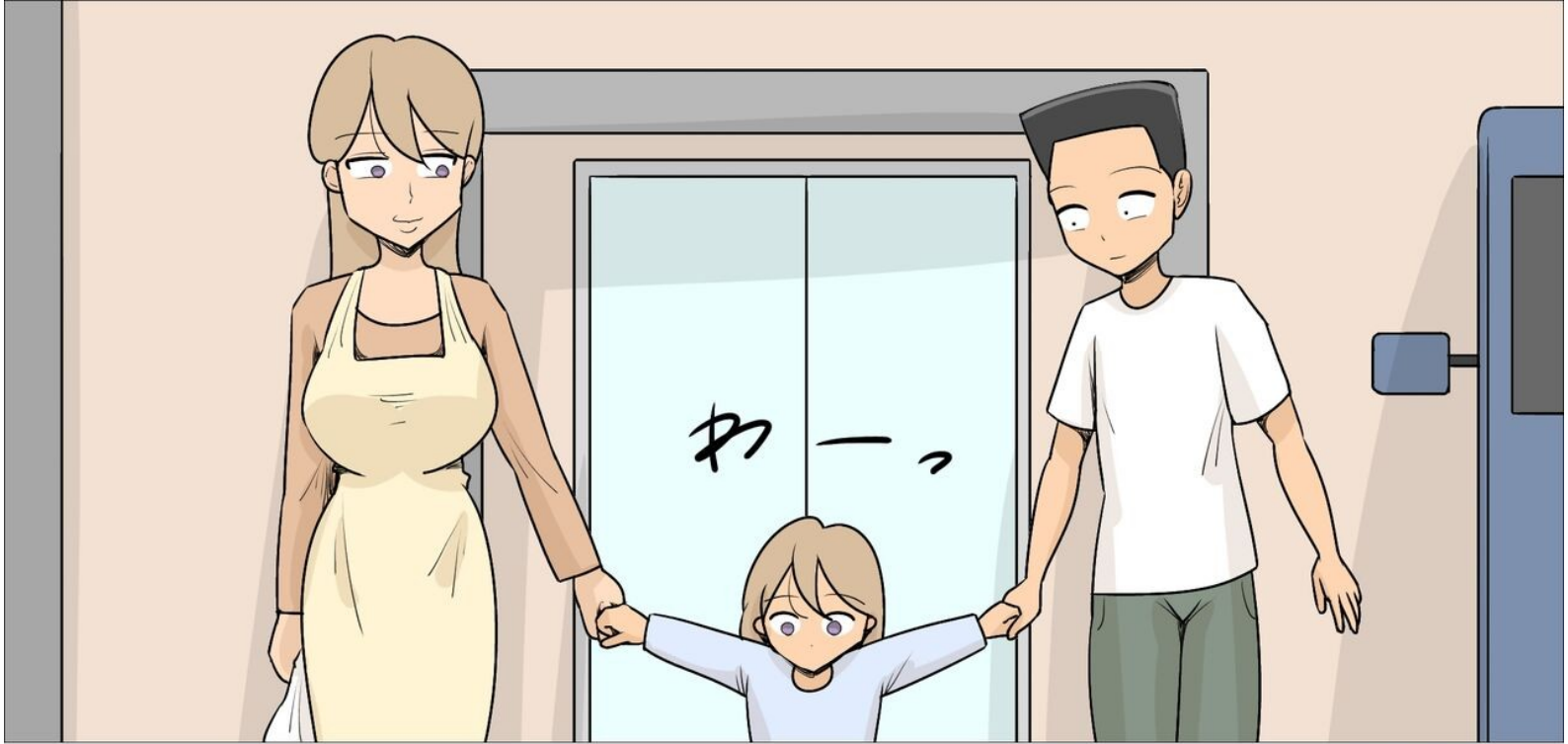


かつ…
からかわないですよ…。

うふふふ…笑
可愛いんだから！
もっと父親らしく
してね…？

ヒロミの父親は
ヒロシさん
なんだからね…？





同人誌、購入してくれてありがとう！
他にもピクシブ、ツイッター、
シエン、ユーチューブをやっています！
チェックしてみてくださいね！

